

特501
609

赤色救援会の大衆活動
国立国会図書館



0038884-000

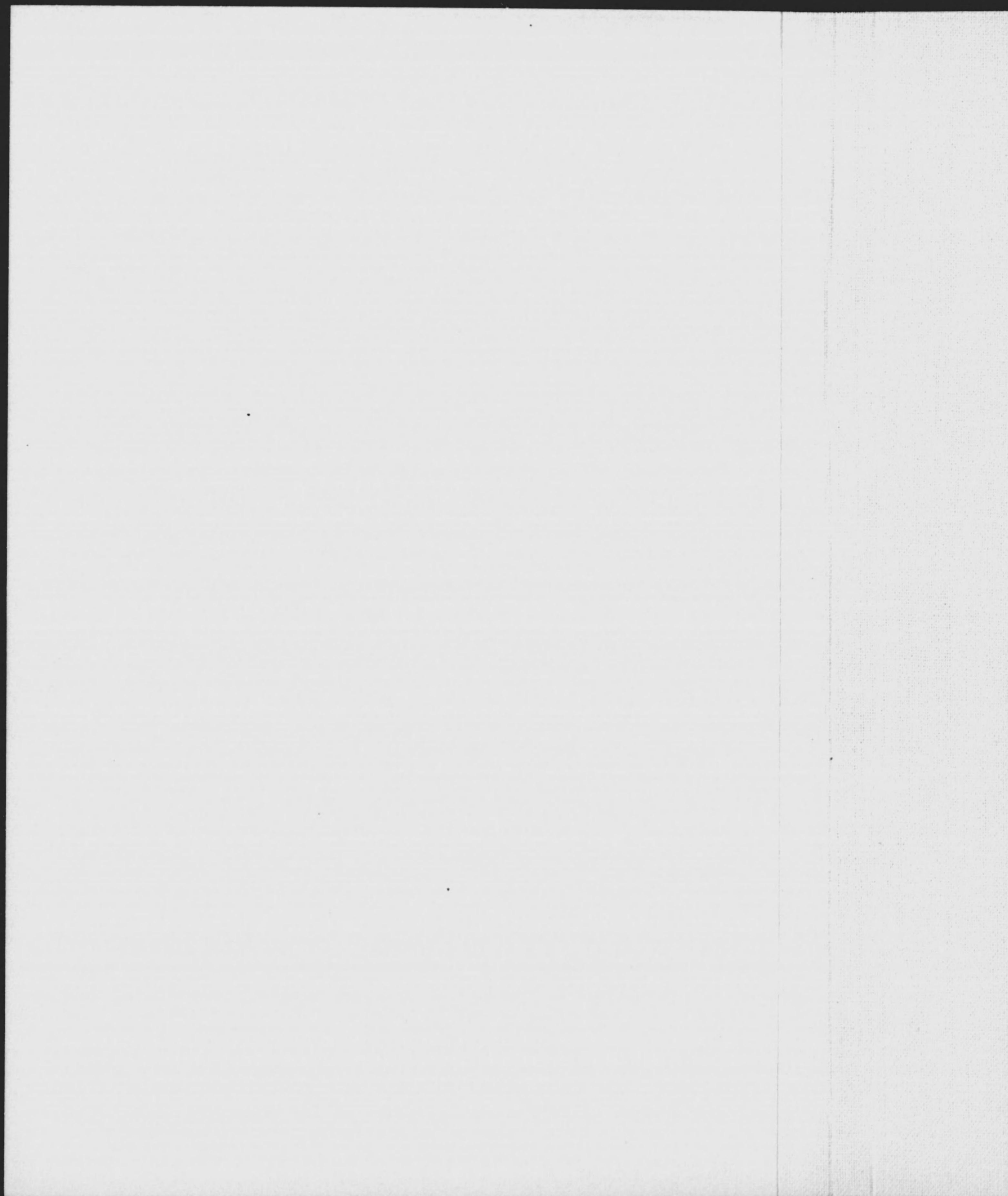
特501-609

赤色救援会の大衆活動

日本赤色救援会

昭和6. 9

AGH



115

控

シロ
107

内務省
昭和 6.12.29 禁止
第156號

輯一第トツレフンパ・ルプツモ

勤活衆大の会援救



安
956

内務省
昭和 6.12.29
第156號

錢五十金價定

特501
609

目次

はしがき.....一

全勤勞者の國際的階級的連帶のために.....三

國際赤色救援會の大衆活動について.....三

赤色救援會と勞働組合.....一八

農民の間に於ける赤色救援會.....二三

失業者運動と國際赤色救援會.....二九

革命的青年と赤色救援會.....三四

國際赤色救援會へ婦人を獲得せよ.....四一

少年と赤色救援會.....四五

反帝同盟と國際赤色救援會.....四九

協同組合内に於ける赤色救援會活動.....五四

赤色スポーツと赤色救援會.....六〇



79W10071

はしがき

全労働者、貧農、全救援會員諸君！

一九三〇年八月四日、當時すべての革命的労働者農民諸組織に一齊に降り注いだ嵐の様な白テロの弾壓を蹴つて解放運動犠牲者救援會第二回全國大會が決行された。大會はその最も輝かしい成果として、國際赤色救援會加盟を満場一致決議した。

以來今日に至る一ケ年の間の日本赤色救援會の闘争は、第二回大會の諸決定を、工場經營農村の中で、日常不斷の實踐として生かし、労働者農民の國際連帯の爲めに戦ふことであつた。これこそが國際赤色救援會（モツブル）日本支部に課せられた任務であつた。

だが今日一ケ年の闘争を顧る時、我々の多くの努力にも不拘、日本赤色救援會の活動は未だ多くの誤謬、缺陷、弱點が指摘されねばならない。加盟一週年を記念すべき我々の任務は假責なき自己批判とその基礎に立つた新らたなる前進である。

我々の闘争の最も重大な弱點の一つは、貴重な、豊富な國際的闘争の經驗を極めて不十分にしか攝取せず従つて強力な國際的闘争の波にともすれば乗り越され勝ちだといふことである。これは急速に克服されねばならない。これなくしては日本赤色救援會の擴大強化はあり得ないのだから。克服の方法の一つは、強力な教育活動に依る經驗の大衆化である。我々はその爲め、ここにモツブル・パンフレットの發刊を決定し、その第一輯を諸君に送る。このパンフレットは引き続き發行されてゆく豫定である。我々はこのパンフレットが諸君の日常の闘争の血となり肉となつて、一切の闘争場面に生きくと織込まれてゆくであらうことを確

信する。これこそが、赤救加盟一週年記念に於て、我々から諸君への最も意義ある贈物の一つと考へる。

一九三一、八、四、

日本赤色救援會中央委員會

全勤勞者の國際的階級的連帶のために

— 國際赤色勞働組合第五回大會に於ける國際赤色救援會

執行部首席代表、同志スタゾフの演説 —

同志諸君！ 八百四十五萬の會員をもつ組織の名による挨拶をもつて、私の演説を始めることを許して戴きたい。私は大會だけに挨拶を述べるのではない。私は國際赤色勞働組合の十年の存在、その存立十ヶ年間の全活動に對しても挨拶を述べる。私はそれに萬歳を送る！

同志諸君！ すでに國際赤色勞働組合第三回大會に於て、我々は我々の組織、國際赤色救援會を問題にした。その決議にかう言はれてゐる。

「國際赤色勞働組合第三回大會は次の如く決定する。

一、國際赤色勞働組合に加盟するすべての組織は、あらゆる手段をもつて國際赤色救援會を支持し、その國に於ける國際赤色救援會支部の組織を容易にし、全組合員に對して國際赤色救援會をできるだけ積極的に支持し、ロシアの諸組織の例にならつて定期的に會費を納めることを提議しなければならぬ。

二、勞働組合新聞は、國際赤色救援會に特に注意を拂つて、投獄された闘士のために適當の宣傳をしなければならぬ。組合新聞は國際赤色救援會の活動に關する生々した論説によつてプロレタリアートを奮ひ起させ、而して大衆に連帶義務觀念を意識させねばならぬ」

だが國際赤色勞働組合第四回大會は、更に前進した。國際赤色救援會といふ超黨派的大衆組織は、プロレタリアートの廣汎な大衆の信頼を獲得することによつて、反動、ブルジョア階級裁判、白色テロル及びフアン

オム反對の闘争のための統一戦線の組織であることを自ら立證した。と大會は言明した。同大會はかう決定した。

- 一、國際赤色労働組合のすべての國の支部は、組合員に對してこの組織へ個人的に加盟することを促さなければならぬこと。
- 二、國際赤色救援會の組織とヨリ緊密にヨリ生々と結合すべきこと、その際、労働組合の代表者は國際赤色救援會の中央組織並びに地方組織に代表を送るべきこと。
- 三、すべての國に於ける釋放及び庇護權のための國際赤色救援會のカムバーニアを労働組合組織の援助によつて支持すべきこと。
- 四、その以前の決定を強調しつゝ、本大會は、労働組合の新聞に對して國際赤色救援會の闘争及び行動のために救援會に紙面を提供すべきことを要求する。
- 五、庇護國の労働組合組織は、政治的亡命者に仕事を與へるために積極的に援助を與へねばならぬ。
- 六、國際赤色救援會に對してその物質的任務の遂行を援助するために、國際赤色救援會の諸組織の基金募集を全力を擧げて支持することが必要である。特に
(イ) 労働組合組織の事務所に基金募集帳をおくことによつて、
(ロ) 工場及び商店に於けるこの基金募集の支持を労働組合員によつて促進することによつて。
- 七、大會は亦、ファシズム、白色テロル、階級裁判等の犠牲者のために労働組合が遂行する特殊の救援活動は、國際赤色救援會の組織と共に遂行せらるべきことを提議する。この救援活動に労働組合組織が協力し、労働組合によつてその統制を確保するために、それに關係をもつ労働組合の代表者は當該救援

委員會に参加するであらう。

そもそも何故に又如何なる根據からして國際赤色救援會は、國際赤色労働組合第三回大會及び第四回大會によつてかくも絶大なる注意を拂はれたのであるか？ このことを理解するためには、赤色救援會の活動に關する全歴史を簡單に一覽することが必要である。

赤色救援會は、一九二二年に舊ポルシェヴィーキの團體の發意によつて創立され、そして現在その八週年を迎へやうとしてゐる。

同志諸君！ 我々は、現在、二十七の合法組織及び二十五の非合法組織、合計五十二個の組織をもつてゐる。資本主義諸國には我々は二十九の支部をもつてゐるが、その中十七の支部は合法であり、十二の支部は非合法である。植民地諸國には二十二の支部があり、その中、九の支部は合法、十三の支部は非合法である。すべてこれらの諸支部は八百四十五萬七千六百六十六名の會員を結成してゐる(喝采)。六百五萬三千二百九十九名の個人會員のうち四百八十四萬千六百八十三名はサヴェイト同盟の抱擁する處であり(喝采)。八十萬の會員はわが中國の組織にあり、しかも七十萬は中國のサヴェイト地方に、十萬は中國の白色地域に於ける非合法組織に包括されてゐる(喝采)。

これに對して他の五十の支部に於ては、四十一萬千六百十六名の個人會員、及び僅か二百三十九萬七千四百六十七名の團體加盟會員が、存在するに過ぎない。同志諸君！ 團體加盟の意義は如何なるものか？ その意義は、すべての組織、——労働組合、黨、協同組合、自由思想家團體、スポーツ組織が全體として赤色救援會に加入し、これらの組織内に於て赤色救援會班を創り、そして個人會員を獲得するにある。こゝで我々は、この活動が労働組合によつては極めてまづくやられてゐるといふことを言はねばならぬ。昨年我々は

團體加盟の巨大な數を得た。即ちイギリスに於ては約九十萬の團體加盟會員が存在した。だが現在は労働組合のダラ幹共が、その組合員及び組織の赤色救援會への加盟を禁止した爲に、團體加盟會員は著しくその數を減じてゐる。

その政治的所屬から見て我々の組織の成員は如何に分れてゐるか？ サヴェート同盟を除いて我々は、五十一の組織内に、四十八%の共產黨員及び青年同盟員並に五十二%の黨外及び社會民主黨の労働者を有してゐる。男子及び婦人の數を比較すれば、我々の組織内では僅に一五・四%の婦人と八四・六%の男子がある。社會的構成から見れば、組織は七七%の労働者、一〇%の農民、八%の使用人及び其の他五%から成つてゐる。労働者の割合がかくも高いにもかゝらず、労働組合の諸組織内には、極く僅かの國際赤色救援會員しかゐらない。成程フランス統一労働總同盟は四十五萬の赤色救援會の團體加盟會員を結合してゐる。カナダに於ても赤色救援會に屬する改良主義的な三十の組織があり、更にフィンランドの組織は我々の組織へ團體加盟してゐる。同じことがチエツコスロヴァキアに於ても云へる。だが私が強調したいことは例へばベルギーに於ては、炭坑労働組合は國際赤色労働組合に加盟してゐるけれども、赤色救援會には屬してゐないといふことである。ドイツには、赤色救援會に屬する一萬八千四百六十八名の組合員をもつ五十二の組織がある。スイスには三十八の組織があるが會員の數は不明である。デンマークには、千八百八十四名の會員をもつ二の組織がある。

だがこれらの諸組織は、我々と協働するために、我々の組織へ代表者を派遣すべきことを決定した國際赤色労働組合第四大會の要求を如何に實行したか？ 數が多くないので私は諸君に全部の表を擧げることが出来る。フランスに於ては統一労働總同盟の一名の代表者、チエツコスロヴァキアでは一名、ポルトガル

では二名、スペインでは二名、北アメリカ合衆國に十八名、オーストラリアは十二名、中國では一名、日本では一名、パレスチナでは二名、南アメリカでは一名、メキシコでは三名、グアテマラでは四名、マサンサルパドルでは二名、ホンチユラスでは二名、パナマでは三名、コロンビアでは四名、ブラジルでは二名、アルゼンチン三名、而してウルガイには三名である。我々はサヴェート同盟の労働組合とは極く拙い經驗しか有たなかつた。最近のモツブル第二大會に於て、サヴェート同盟労働組合評議會から一名の同志が中央委員會へ代表された。この同志は、唯一回の會議にも出席しなかつたのである。彼は終に召還されたまゝ、何人によつても代られなかつた。

同志諸君！ 私がこゝに掲げた數字は、赤色救援會に提出された要求にふさはしいであらうか？ 我々は全く斷乎として否と答へなければならぬと信ずる。といふわけは、若しも私が諸君の眼前にこの上もなく甚大な犠牲者の數をあげたならば、諸君は恐らく仰天してしまふだらう。諸君に、全八ヶ年間の數字を示すことは出来ない。といふのは我々の成立の最初の年には、統計が不完全であつたからである。だが、一九二五年から一九三〇年に至る最近五ヶ年の間に次の數を擧げることが出来る。

- 殺害された者及び拷問された者 六一九、九七九名
- 負傷させられた者 二二八、八六一名
- 逮捕された者 五五五、八一八名
- 死刑に處せられた者 五〇、四一一名
- 有罪の判決を受ける者 七〇、五七七名

合計

一、五二五、六四六名

同志諸君！ 私は信ずる、労働組合大会はこれらの數に注目しなければならぬ。代表者は各自の組織に歸つたならば、一層大なる精力を以て赤色救援會の活動を爲さねばならぬ。然り、フアシスト、社會フアシスト、警察並に全ブルジョア世界との闘争によつて、迫害は日々に増大してゐる。赤色労働組合も亦、絶えずこの何時危険が襲ふか分らぬ「ダモクレス」の劍の下にあるのであり、次から次へと新しい犠牲者が斃れてゐるのだ。最近の統計を擧げたならば、支那及び印度に尨大な數の新しい犠牲者が見られたであらう。中央アメリカ及び南アメリカのやうな國々に就ては犠牲者數が不明であることを私は強調したい、何となれば犠牲者は屢々海中に投棄されて鮫の餌食とされてゐるため全犠牲者を算へることが出来ないからである。

この莫大な數字へ更に我々は、同じく全世界に於て日々増大してゐる政治的亡命者の法外の大群を加算しなければならぬ。我々は庇護權獲得のための闘争を行つてゐる。だがその結果は有利だとは云へない。私は、こゝにたゞ一つの事實を、そしてアメリカ合衆國の事實を引用しよう。北アメリカ合衆國の労働者運動労働組合運動、一般的に革命運動が飛躍を遂げて以來、ブルジョアジーはあらゆる手段を盡してこれらの運動を抑壓しやうと企てゝゐる。現在そこでは新なる法律が日程に上されてゐる。そしてそれによればアメリカ生れでない者は何人と雖も、彼が革命的行動に参加するや否や即時に、外國人と見做されアメリカから追放される（彼が永年、然り、十年以來アメリカに住んでゐたとしても）。同志諸君！ これは何を意味するのか？ 何人によつてそして何人に對して最初の打撃が與へられてゐるか？ 勿論共產黨員に對して、赤色労働組合員に對してだ。このことを我々は注目しなければならぬ。同様のことが他のすべての國々にも見られる。曾てバルカン諸國の政治的亡命者はオーストリーに於て庇護權をもつてゐた。ところが現在ではそれがない。労働組合員も亦我々と腕をくんで庇護權獲得のための闘争を遂行しなければならぬ。

我々は過去八ヶ年の間に、あらゆる犠牲者を救援するために如何なる救援を遂行せねばならなかつたか？ 次に數字を掲げよう。

政治犯人及びその家族への救援のために	一六、二〇二、四九八マルク
法律的救援のために	三、四三九、一三四マルク
政治的亡命者のために	五、七三四、五六六マルク
兒童ホームのために	五九九、九三〇マルク
合 計	二五、九七六、一二八マルク

(嵐の如き拍手)

同志諸君！ 諸君の喝采は少しも私の心を動かさない。何となればこれらの數字を犠牲者のそれと比べるならば、ホンの燒石に一滴の水であるからである。そして私は、同志諸君がこゝから各自の組織に歸つたならば、一層大なる精力を以て赤色救援會のために盡されるであらうことを確信してゐる。

一九二五年以來、我々はおよそ四百の大きなカムバーニヤを遂行した。國際的カムバーニヤについては全部を擧げる時間が無いので二三だけをこゝで述べよう。遂行されたカムバーニヤには、サツコ・ヴァンゼツチ、ガストニア、フロムダ等々がある。通常これらのカムバーニヤは、釋放と庇護權の要求とも結び付けられたが我々は釋放のための特別なカムバーニヤをも遂行した。しかしながらこれまで我々は完全な釋放を強制させることに成功しえないで、常に唯一部の釋放を獲得したのみであつた。

同志諸君！ 丁度これらのカムバーニヤに引き續いて、大きな裁判が行はれることが非常に屢々であつた。我々は次の事件に於て法律的救援を行つた。即ちサツコ・ヴァンゼツチ裁判、ラコシ及びその他の同志

の裁判、サント、ヴァヂその他の同志の裁判、フロマダ裁判、イタリ―共産黨中央委員会に對する裁判、メ
ールートの裁判、ブルガリアに於ける五十二件の裁判、ガストニアの裁判、マダガスカル、朝鮮、日本に於
ける裁判等である。いふまでもなく我々は、これらの裁判を國際的な煽動に利用した。

同志諸君！ 國際赤色救援會に課せられてゐる主要任務は、階級裁判の犠牲者に對する救援のみでなくし
て、國際的教育でもある。こゝで私は、如何に國際的教育が必要であるかを赤色救援會の會員に特にハツキ
リと示してゐる一つの事件を述べなければならぬ。諸君は恐らく耳にしたであらうが約二週間前、スター
リンググライドの工場「トラクトルストロイ」のアメリカの労働者が、白色アメリカ人が食事してゐた酒保へ
這入つて來たといふだけの理由から一人の黒人労働者を毆打したのである。ロシアの労働者はこれについて
立派な返答をした。だがこの事件この事實は何を示してゐるか？ それは、アメリカの赤色救援會の組織が
これまで、人種的な憎悪を無くするために充分活動してゐなかつたことを示すものである。勿論この場合ア
メリカ人は黒人を私刑にしようとはしなかつた。だが我々は殆ど毎日アメリカの私刑の事實を聞いてゐる。
しかも労働組合は、この中世紀的遺制に對して餘りに僅かな注意しか拂はなかつた。同志諸君！ 若しも勞
働組合が、アメリカ、或は南アフリカに於て白人と黒人との共同の労働組合を設立するために闘はんとする
ならば、我々は労働組合と提携する。若しも労働組合が植民地諸國に於て運動を行ふならば、我々は労働組
合と歩調を共にする。そして何よりも先づ、労働組合及び共産黨と共同して準備しつゝある戦争に對して闘
争を遂行するものである。戦争の最先の犠牲者は革命的意識ある労働者及び農民であらうといふことを、我
々はハツキリと知つてゐる。

戦争に對して我々は闘はねばならぬ。我々は、腕を組んで闘争し、そして社會主義を樹立するための労働
組合の闘争に歩調を合せて前進する。我々は、社會主義に於てのみ、政治犯人が存在しなくなることを知つ
てゐる。

労働組合に組織された労働者の廣汎な大衆を資本主義に對する攻撃へ導く國際赤色労働組合萬歳！
性、年齢、人種の如何を問はず、あらゆる隷従者を解放する世界革命萬歳！

—「モソブル」誌、一九三〇年十月號—

國際赤色救援會の大衆活動について

赤色救援會組織の大衆活動の問題は今初めて日程に上つたものではない。その重要性は我々の全組織によつて、又役員の絶對多數によつて眞面目に認められてゐる。だが我々が今再びこの問題に立ち歸つたのは次の二つの主要な理由によるのである。第一に、我々の組織及役員の多數は、その重要性を眞面目に認めたがまだ現實にその實現のために活動してゐないからである。第二には、資本主義諸國のテロルが大衆的現象にさへなつて、日々勤勞大衆の新しい層を苦しみに引き入れてゐるからである。だがかかる大衆的テロルは決して一時的現象ではない。それは、資本主義諸國內部に於ける階級對立の尖鋭化と反サヴェート同盟戰爭準備の促進を現はしてゐるのである。

テロルと逮捕との大衆的性質は我々の大衆活動を一層容易に展開させ、又その義務を我々に課してゐる。尙この大衆活動も、亦赤色救援會組織の存在條件の一となつてゐるのである。何故ならばその組織が既に一聯の國々では禁止され、他の一聯の國々では同じ危険が迫つてゐるからである。唯大衆活動によつてのみ、唯赤色救援會組織が工場及び大衆のうちに根を張ることによつてのみ、禁止を防ぎ、従つて禁止を効果ないものとする事が出来るのだ。

工場に於ける大衆活動

最も初歩的であり同時に最も重要な大衆活動の形態は工場に於ける活動である。工場班の上に打建てられ

た赤色救援會組織は禁止され得ない。即ちかかる場合には禁止が行はれない。だから工場班の確立が現在に於ける赤色救援會組織の最も重要な任務である。

社會主義建設活動に於けるロシヤ労働者の成功は、いかなる方法を以て活動にとりかゝらねばならぬかを我々に示してゐる。我々は問題を精力的に掴み、どんな困難にもひるんではならぬ。同様に我々は、官僚主義的機械的な活動方法——それがどこにあらはれようと——を放棄しなければならぬ。この點に確實な危険が存在してゐる。赤色救援會員は大部分彼等の居住地別に組織されてゐる。だから彼等を工場班に引き入れることが必要である。それはどんなにやればいゝのか？ 勿論官僚主義的、強制的登録更へによるのではなく、廣汎な啓蒙カムパニヤによるのだ。工場班の設置の問題は決して赤色救援會員の機械的登録更へによつて統制されないといふことを我々は強調する。この問題の最も重要な部分は、反對に工場内に於ける會員獲得行動である。登録更へは、工場内に赤色救援大衆組織を設置するといふ目的に對する手段にすぎない。大規模の啓蒙カムパニヤ、再組織の必要を理解した赤色救援會員の敏速なる再編制、工場内の會員獲得行動——これらは同一の行動の三要素である。我々は、工場で働いてゐる赤色救援會員のすべてがこの再組織の必要を理解し、残りなく登録更へされ得るまで待つてはゐられない。出来るだけ早く最も活動的な分子と共に始めねばならぬ。我々は我々の活動のための計畫を立て、この計畫においては主なる重點を大工場におかなければならぬ。この點でも、機械的に問題を提起することには極力反對しなければならぬ。例へば我々は最初にこの工場、次に他の工場が再組織されるといふ風に問題を提起すべきではなくして、我々の啓蒙カムパニヤによつて眼覺されたすべての勢力を活動に引きよせ、下部組織及び役員の善き發意を支持し、促進させねばならぬ。かくして我々の役員幹部が擴大され、そしてこのことは確かに再組織の利益の一つを示すも

のでもある。

經濟闘争に於ける大衆活動

現在大衆活動の最も重要な形式は、疑もなく經濟闘争を闘つてゐる大衆の間に於ける活動である。すでに大戦前ブルジョアの権力機構は、ストライキの度毎に資本に奉仕してゐた。だが現在の時期に於て階級對立が尖鋭化した結果、警察及び全ブルジョア國家權力はより公然と、より殘酷に、より大仕掛に労働者に突撃して來るに至つた。

經濟闘争と關聯して逮捕及び迫害は同様に一つの大衆的現象となつた。各國のストライキ記録がそれを證明してゐる。

かゝる條件の下で、赤色救援會のアチプロが非常に効果的であることは、絶對的に明白である。罷業者は誰でも警察及國家機構の行動に對して激怒してゐる。だから彼等に赤色救援會の役割を完全に説明することは赤色救援會の任務である。しかも、労働者の共通の利益を代表するといふ理由で、彼等の仲間の多くの者が牢獄にプチ込まれてゐるのを見てゐる罷業者は、犠牲者とその家族を救援し、階級裁判反對及び犠牲者釋放のためのカムバニアを行ふ赤色救援會組織の必要をすつと容易に理解する。

この問題は、同時に極めて容易に誤解が生じうる。ストライキを指導するのは赤色救援會の任務ではない、罷業者自身及びその家族を支持するのこそその任務ではない。これは黨及び労働組合の任務である。黨及び労働組合の任務は、労働者の賃銀及労働の紛議に際して彼等を代表することである。赤色救援會ははつきりと一定の範圍の任務をもつており、この範圍を擴大することは危険を伴ふ。赤色救援會は専ら政治犯人と

その家族を救援するものであり、そしてストライキをきつかけとする警察の迫害及階級的裁判反對のために闘ふものであることは明らかである。これで誤解をのぞきえたと思ふから、問題自身に立ち歸らう。

最近のストライキの經驗に徴して見て、婦人及び青年に對する迫害が、ひどく擧げられ益々急進化しつつあるこれらの層の闘争の成長によつて呼び起され、且つ著しく増加した。この事實は、無條件に顧慮されねばならぬ。そして經濟闘争は婦人及び青年の間に於ける我々の活動を強化するために充分利用されねばならぬ。經濟闘争の場合に警察のテロルによつて強く苦しめられるもう一つの労働者階級の層は、外國労働者だ。フランス、アメリカ、ベルギー及びその他の國々に於て、外國の労働者は、たとへ彼等が爪の垢程の罪を犯さずとも、迫害をうけ、追放されてゐる。この事實は極めて善くブルジョア國家機構の役割を特徴づけてゐるものであり、外國労働者の間の宣傳活動及び會員獲得活動をヨリ強化するためばかりでなく、自國労働者自身の内に國際的連帶思想を植え付けるためにも利用されねばならぬ。經濟的闘争に於て、赤色救援會は社會民主主義及び改良主義的組合官僚主義の役割の假面をヒツパカすことも亦容易だらう。

ストライキが勃發した場合には、その活動範圍にストライキが起つたところの赤色救援會の諸組織は、罷業者の中にある赤色救援會員を結集して、直ちに活動を開始しなければならぬ。だがその場合にも主要なる重心は、會員獲得活動におかれ、下からの發意が促進されねばならぬ。ストライキ中に、青年、婦人、外國人が代表されてゐる赤色救援委員會が組織されるべきだ。そしてそれは赤色救援會の煽動をなし、入會の宣言を集めなければならぬ。かくして恐らくストライキの勃發の前にはとても不可能だと思はれてゐたやうな工場に於て新しい工場班が成立さへするに至るであらう。

大衆活動の他の諸形態

大衆活動は、他の非常に異つた形態をとることができる。それ故私はこのすべてを詳細に取扱ふことはできぬ。こゝでも我々の組織及び役員の發意の能力が極めて重要な役割を演ずる。例へば労働者の多數を包括する種々な組織(労働組合、スポーツ組織、自由思想家同盟、協同組合等々)をとつて見よう。これらの組織の一部は、團體會員として赤色救援會に加盟してゐる。明かな事であるがこの場合これらの組織の成員の大多數が團體會員となることに賛成し、赤色救援會の必要を認めたのであるから、これらの組織に屬する労働者を個人會員として赤色救援會に獲得することができることは、明白である。だが、このことはこの意味に於ける一般的宣傳によるのでなくて、これら組織内に於ける組織的活動によるのだ。赤色救援會の班が一つの組織内部に於て共同的活動の爲に結成されたところでは、會員獲得行動が他の組織内に於けるよりずっと大きいことは、經驗が明確に示してゐるところだ。このことは赤色救援會に團體的に加盟してゐる組織に當てはまるばかりでなく、他の組織にも當てはまる。改良主義的労働組合、或は社會民主主義者によつて指導されてゐる自由思想家團體内に於て、赤色救援會はその會員として組織されてゐる場合、大なる活動を行ひ社會民主主義の役割を暴露し、そして會員獲得の大なる成功を収めることができる。

大衆活動の他の極めて重要な形態の一つは、勤勞者大衆の種々な層(婦人、青年、農民、外國人)のうちに於て、これらの層の特殊的利益及び條件を顧慮して活動することである。我々が實際の成果及び大衆的影響を獲得しやうと思ふならば、この領域でも、組織的活動がなされねばならぬ。各組織はこれらの層の間に於ける不斷の活動のために責任ある一同志を——若しくは小委員會をすら——決定しなければならぬ。だ

が完全な任務を遂行するために、あらゆる機會をとらへて赤色救援會の班が作られねばならぬ。例へば、軍隊に於て虐待のため死ぬ農村出身の青年(フランスの守備軍兵三百名等々)、もしくはかゝる虐待に對して抗議し、重刑の判決を受けた青年の事件を取らう。かゝる事件に於ては婦人及び青年の間に於ても一般にこの村の農民達の間に於てもブルジョア権力機構、戦争、階級裁判反對の充分な活動が行はれ得ることは明かだ。だがかゝる活動は組織的にやらねばならぬ。即ち、かゝる具體的な事件に對して煽動を行ふ任務を委託された一つの班が作られねばならぬ。かゝる班は新會員募集によつて簡單に作られうる。國際赤色救援會の支部及び姉妹組織は、その任務を遂行し、禁止を阻止し、効果なきものにするために今迄より一層實際的な大衆組織とならねばならぬ。それらは、廣般な啓蒙カムパニア及び大規模の會員獲得活動の遂行を通じて工場班の基礎の上に打ち立てられねばならぬ。經濟闘争に於ける、又勤勞者大衆の種々の層の間に於ける大衆活動が、組織的に遂行されねばならぬ。官僚主義的、機械的活動方法は、廢棄され、發意が下から上迄高められ、促進されねばならぬ。

競争を開始せよ!

赤色救援會と労働組合

本年の初めに、萬國の赤色救援會各指導部は從來の活動の諸成果を検討し、今後の活動計畫を樹立するであらう。その際就中次の諸問題が熱心に議せられるべきである。——吾々は昨年組織上の建設に於て實際に前進したか？ 吾々は組織的により強くなり、吾々の闘争はよりよく行はれてゐるか？ 吾々は前年に比して財政的にもより強くなつたか？ 吾々は、實際に於て、各國の「赤色救援會」を一個の廣汎な、超黨派的な、できるだけ合法的な大衆組織として作り上げるべき義務を吾々に課した決定に關して、實踐的に何をやり遂げたか？ 吾々はこの領域で往々にして等閑に附されてゐたものを取り返すために、次年度で何を爲さなければならぬか？ これらの問題に關聯して「赤色救援會」の諸機關は次ぎの問題に行きあたらざるをえないであらう。即ち、次年度に於ては何を措いても労働組合内の組織的活動を著しく擴大しなければならぬ。

労働組合内に「赤色救援會」の團體會員及び個人會員を獲得する爲に、現在はとりわけ好都合となつてゐる。ほんの些細な日常要求のための闘争にあつても、労働組合に組織された労働者はブルジョア國家、警察、憲兵、裁判所を敵として闘つてゐる。死滅しつつある資本主義は労働者に對して爪の垢ほどの讓歩をさへすることができないのだ。死滅しつつある資本主義は、資本主義的「合理化」による搾取の増大、賃金引下げ、労働者の失業反對のあらゆる労働者の試みを、自己の生命を脅す攻撃として、テロルと權力との全手段を擧げてたたきつぶさすにはゐない。殆んど一切の貨銀闘争、一切のストライキに於て、労働組合に組織

された労働者は警察の迫害、逮捕、有罪の宣告を覺悟せねばならぬ。その際労働者達は階級闘争の犠牲者の運命が社會民主主義的及び改良主義的幹部にとつてはどうでもよいことであり、これらの幹部の方からは保護も救援も得られないといふことに就て、あらゆる具體的な場合に、極めて教訓に富んだ實物教育を受けてゐる。その結果として、また非共產主義的、社會民主主義的、または黨に所屬せざる労働者も、「赤色救援會」設立の基礎となつてゐる諸原則を納得するに至るのである。數百の労働組合的グループは團體會員として、労働組合に組織された數千の労働者は個人會員として、「赤色救援會」に獲得することができるのだ。だから吾々の義務はかうだ。——吾々は労働組合内で從來よりもより一層執拗に、より系統的に活動しなければならぬ。

革命的労働組合と労働組合革命的反對派の指導部は「赤色救援會」各國支部のかゝる活動を、積極的に、自らの創意をもつて支持する義務をもつ。國際赤色労働組合第六回世界大會に於て、労働組合に對しかゝる義務を明確に課せられた。大會の總會で代議員達は「赤色救援會」國際執行部の代表同志スタソヴァの演説を満場一致をもつて承認したことによつて全員が結びつけられたのだ。國際労働組合大會の間に開かれた特別會議に於て「赤色救援會」の労働組合との實踐上の協働のための具體的な指示が與へられた。それ以來五ヶ月を経てゐる。いたづらに喝采し、文句を並べるだけに止まるべきでない。あらゆる國々で吾々は次のことを検討しなければならぬ。——吾々はこの五ヶ月間に労働組合内で「赤色救援會」のために幾何の新たる團體加盟會員ならびに個人會員を獲得したか、獲得された會員の中幾何が實際に活動を展開し、會議、集會を定期的にもち、會費を納め、一般的行動に参加したか、等々。

改良主義的組合に組織された労働者の間における吾々の會員獲得活動もそれに劣らず必要である。ここでは言ふまでもなく幹部の救援に頼るわけには行かない、反對だ。然るに改良主義的組合のプロレタリア組合

員大衆は既に彼等の表面の指導者に對する信頼に動搖を來してゐる。社會民主主義的政黨の政策が、舊い改良主義的労働組合幹部の戦術が不可能だといふことを彼等は知つてゐる。恐らく彼等は、資本主義の現在の歴史的斷末癡に於ける階級闘争の問題を、最後の革命的結論にまで考へ抜く勇氣をまだ持つてはゐない。だが「赤色救援會」が廣汎な、超黨派的な革命的組織として掲ぐる諸原則に對しては、組合員大衆も既に準備ができてゐるのだ。「赤色救援會」の組織の中へ會員として加入することは、彼等にとつて、改良主義的な即ちブルジョア的な影響の鎖からより一層の解放へ向つての一步前進を意味するであらう。

非常に重要なことは、労働組合から新たに獲得された會員が、直ちに「赤色救援會」の活動を體驗する機會に接することである。吾々のグループは決して紙上のものではなく、現實に、系統的に、實踐的に活動してゐるのだといふことを行動を以て知らさなければならぬ。會員の集會が定期的に持たれ、その集會の席上では、貸銀闘争やデモンストレーションに参加したために逮捕された労働者のための救援の問題が具體的に討議されるといふことを彼等は知らねばならぬ。彼等の身の周りの小さな事件によつて、改良主義的労働組合から新しい會員を誘ひ出しうるのである。だが會合では、彼等は更に、階級闘争のより高度の形態に關係ある重要な事件に就ての議論並に決定に参加すべきである。彼等は經濟的闘争と政治的闘争との間の、地方的、一國的闘争と國際的闘争との間の關係を理解するだらう。労働者の利益を代表するあらゆる組織は必ず闘争の組織でなければならぬことを理解するだらう。「赤色救援會」も亦革命的組織としてでなければその目的を達成することはできないことを理解するだらう。彼等は自ら革命的となる。「赤色救援會」はその實踐によつて、嘗て改良主義的であつた労働者の革命的啓蒙のための學校となるべきだ。

最後に、労働組合内に於ける「赤色救援會」の確立は、その合法性獲得闘争の立場から見ても、重要であ

る。階級闘争が尖鋭化するにつれ、特にサヴェート同盟に對する階級戦争の具體的な準備と關聯して、「赤色救援會」が今日未だブルジョア法律の埒内で活動してゐるところですら、その合法性を剝奪しようとする方策がとられることを豫期せねばならぬ。例へば最近チエツコ・スロヴァキアでは、その國土の半分を占めるスロヴァキア及びカルパチア・ウクライナ地方に於て、「赤色救援會」は非合法の「秘密」(一)結社として彈壓されてゐる。同様に超黨派的組織たる「サヴェート友の會」は十一月末、全國に亘つて警察の禁止を受け、労働組合との結合は、「赤色救援會」が合法性獲得の大衆闘争を展開する上に於て、非合法の状態の下で活動する上に於て、非常に役に立つだらう。

言ふまでもないことだが、「赤色救援會」の會員獲得活動は労働組合だけに限られてはならない。労働者の一切の大衆組織、プロレタリア的體育家、スポーツマン、旅行家、自由思想家、協同組合、工場委員會、工場内の全従業員會、失業者委員會、農民、婦人、青年、學生が各國に於て新たな數百の團體加盟會員、數千の個人會員を供給しうる。これらの領域もまた無論輕視してはならない。しかし、革命的労働組合と改良主義的労働組合及び革命的反對派からできるだけ多數の團體加盟及び個人の新會員を獲得することこそ、「赤色救援會」の全支部が一九三一年度活動計畫中の一つの全く具體的な任務として無條件的に取り上げなければならぬものだ。

労働組合から新たな團體加盟會員及び個人加盟會員を獲得することによつて、「赤色救援會」を組織的に強化することこそ、一九三一年度の吾々の闘争の最重要問題の一つとならねばならぬ。

この問題は「赤色救援會」の凡ての國の支部に於て、だが同時にまた革命的労働組合の全指導部に於て數千の「革命的及び改良主義的」労働組合會議と地區グループの集會に於て、日程に上されねばならぬ。

農民の間に於ける赤色救援會

國際赤色救援會の殆んどあらゆる支部及び姉妹組織に於いて、その大衆的活動の最も弱い部分は、勤勞農民の間に於ける活動である。農村に於ける勤勞者大衆のわが赤色救援會組織に加盟してゐるものは極めて僅かな率にすぎない。その理由は主として次の事實に求むべきである。即ち赤色救援會が會員獲得活動を行ふにあつて、先づ、實踐上國際的連帶の思想を容易に受け入れるところの進歩した階級意識ある工業プロレタリアートに向つて行つたからである。

今日に於いては最早やこれでは充分ではない。赤色救援會組織の基礎は、あらゆる國に於いて、勤勞者のあらゆる層を例外なく包括し、出來得べくんば全數を抱擁するまでに擴張されねばならぬ。農村に於ける勤勞者は多くの國に於いて人口の壓倒的多數を占めてゐるから、赤色救援會の組織外にあつてはならぬ。農業勞働者及び耕作農民が、資本主義の搾取と抑壓に對するプロレタリアートの經濟的、政治的闘争に引き込まれること多ければ多いだけ、農村に於ける勤勞者大衆の間に赤色救援會の宣傳を廣汎に開始することが益々重要となつてくる。農業勞働者及農民の多かれ少なかれ廣汎な革命的運動が行はれてゐない國は、最早や存在しない。

資本主義的經濟恐慌が都市及び農村の勤勞者大衆に及ぼした異常に苛酷なる影響は、同時に現はれた國際的農業恐慌によつて更に限りなく深刻化された。失業と飢餓とは都市農村を問はず同じ強度を以つて擴がつ

てゐる。農民の最も不安な層——農業勞働者、農村日傭取、小農及び中農——の貧窮化は、農業恐慌の結果益々進展して停るところを知らない。その結果は、農村からの大衆的逃亡である。それは都市及び工業中心地に向つてその移住、大衆的轉居の増加のうちに現はれてゐる。吾々を見る、至る所で農村の勤勞者大衆が益々頻繁に、地主達の非人間的搾取に對し、又租稅掠奪や高率の小作料に對して反抗し、革命的階級闘争にまで昂揚してゐることを。惡辣なる資本主義的搾取に對する農業勞働者のストライキ、土地、牧場森林の沒收に反對し、負債を負つた農民の財産の競賣に反對し、或は又租稅掠奪と小作料の暴利に反對する農村のデモンストレーション及び武裝叛亂は、止むことなくあらゆる國々に行はれてゐる（例へばポーランド、アイerland、ルーマニア、ドイツ、日本、南米及び中央アメリカ、パレスチナ、ハンガリー、ギリシヤ、フランス、ブルガリア、インド支那、南アフリカ、印度、支那等々）。ムツソリニーの治下に於いてすら、農民はファツシストの暴力と飢餓に對する闘争に騒起してゐる。

革命運動が最も廣汎に行はれてゐるのは支那及び印度であつて、そこでは勤勞者大衆は、帝國主義と自國のブルジョアジーとの二重の桎梏からの解放闘争を不斷に遂行してゐる。南方支那では、六十パーセントまで革命的農民から構成されてゐる赤軍が不斷の前進を續けてゐる。赤軍によつて占領された地域の人口數は五千萬以上に達してゐる。千四百萬以上の人口數をもつ七縣の何百と云ふ地域に於いて、勤勞農民はサヴェート權力を樹立し、地主や高利貸や官吏を追ひ出し、土地及び倉庫に貯藏されてゐた米穀を全部分配し、高利貸や租稅の負債を無効と宣言した。支那に於ける革命的農民運動の範圍と勢力とが更に發展してゐることは次の事實を見たゞけでもうなづかれる。即ち今年の三月以降四ヶ月間に於いて赤軍の數は六萬二千から十萬に躍進してゐるのである。

印度の廣汎なる勤勞者大衆が、次の事實、即ちブルジョアの民族運動の目標とするところは、權力を英國帝國主義と共に分ち、且つ印度のブルジョアジーが勤勞者大衆の搾取と抑壓により多く干渉せんがためにすぎないといふ事實を充分に認識するとともに、彼等は又ガンヂーの說教する「消極的反抗」の手段に背を向け、「革命的」解放闘争の道を進むであらう。全印度に於いて示威運動者と軍隊との血闘い衝突は殆んど毎日行はれてゐる。英國の軍司令部は數週間、或は全兵力を動員し、或はテロと死刑の執行によつて、ベンヤワールに於ける農民の暴動を鎮壓せんと努めたが無益であつた。執拗な闘争の後、英軍がベンヤワール市を占領することができたとき、彼等暴徒は英軍の飛行機の襲來を避けて安全な山中に逃げ込み、そこで新たな勢力を集中した。最近の報告によれば、暴動を起した農民達は既に再び一萬を集合し、新に攻勢に移つてゐると云ふ。

直接革命運動の擴大と關聯して到る所に、農村の勤勞者大衆に對する迫害とテロとが劇烈となつてゐる。これによつて赤色救援會の救援活動を強化する必要と、その戦線の擴大とが生ずるのである。そしてそのためには、勤勞農民の間に基礎が造られねばならぬ。虐殺と大衆的銃殺、逮捕、虐待、投獄、不毛の地域への追放、農業労働者及び農民の組織の解散、彼等の新聞紙や文献の破棄、懲罰遠征や全村の劫掠、婦女子に對する殘虐なる報復手段等々は、その支配を脅かされたブルジョアジーが農業労働者及び農民の革命運動に對して取る手段である。

しかるに資本主義の搾取から解放されたサヴェート同盟の勤勞農民大衆の状態はこれと全く趣きを異にしてゐる。勤勞者農民の國家は、全力を盡して、舊式な、幼稚な勤勞方法から農業耕作の最高形態への移行を實現し、收穫を高めんと努力してゐる。政府の農業専門家の一隊はいつでも勤勞農民に援助を與へることを

惜しまない。草原や沼地を豊饒な耕地に変えるために大規模の土地改良が實行されてゐる。農村の電化は間斷なく前進を續けてゐる。幾百萬の信用貸や良質の播種地やトラクター及び農業機械具が農業のために準備されてゐる。農業器具及びトラクターを製造する世界最大の工場は、すでに一部は完成し、若くは工事中にある。農村の青年は高等學校で農耕及び農政を學ぶ。幾百萬の農業労働者、小農及び中農は、自發的に共營農場に参加してゐる。しかし又個々の小農及び中農も耕作及び收穫の場合には國營農場及び共營農場の援助を受ける。村落には又文化革命が展開してゐる。ツァーリズムの哀れな遺産である無學文盲は全力を擧げてこれを克服すべく努力してゐる。學校、讀書室、圖書館等は村落住民の必要物となり、それなしにはサヴェート農村は最早や考へられない。

サヴェート同盟の躍進が、資本主義諸國に於ける抑壓された勤勞者大衆を、全線に亘つて革命的階級闘争に驅り立ててゐると云ふことを、ブルジョアジーはあまりにもよく知つてゐる。それ故に彼等は、戦争によつてサヴェート同盟を壊滅し、解放された勤勞者農民を再び資本主義の羈絆に強ひんとしてゐる。彼等はそのための準備を熱病的に遂行してゐる。サヴェート同盟に對する武裝があらゆる國々に於いて熱病的になされてゐる。しかし戦争を最も効果的に遂行する爲めの最も重要な前提は、自國の軍隊の信頼である。擾亂せる農民や、革命的な農村の労働者及び林業労働者達は、決して大砲の餌食となるにふさはしいものではない。かゝる分子がゐるでは、ブルジョアジーは労働者農民の國に對して戦端を開くことはできない。それ故に彼等は労働者農民に對して殘忍な行爲を行ふのである。彼等はかゝる革命運動を萌芽のうちに銃殺しやうと企ててゐる。廣汎な大衆を殘忍なテロによつて威嚇し、貧窮と饑餓とによつて柔順な人形に去勢せんとする。この視點から見る時、革命的農民の行動の一つ一つは、ブルジョアジーに取つては戦争の妨害物であり、同

時に又サヴェート同盟を擁護することにもなる。

これらすべてを総合し結果、吾々は、従来等閑に附してゐたところの農村の勤勞者層の間に於ける活動を至る所で全力を擧げて遂行しなければならぬ。だが吾々は、都市に於いて確證された吾々の宣傳方法を單純に農村に持ち込み得ると考へてはならぬ。

さて農村に於ける宣傳を正しく行ふには如何にすべきか？ 先づ第一にそれは具體的な内容を持つてゐなければならぬ。緊急な日常問題や農民の闘争がその核心、出發點を成さねばならぬ。それは、修辭から離れた理解され易い簡単な言葉で語られねばならぬ。農村宣傳の重點は、農業、林業勞働者の上に置かれねばならぬ。なぜなら農村に於いては、彼等こそ農民の革命運動を遂行する能力を備へた層だから。彼等は又勤勞農民と勞働者階級とを結合する鎖である。

吾々の全注意は、先づ第一に、ストライキ及びその他の闘争の際農業勞働者に益々加重される迫害に向けられねばならぬ。かゝる場合には何時でも吾々は、吾々の救援と支持とを以つて入り込まねばならぬ。農村たると都市たるとを問はず直ちに行動に移らねばならぬ。日傭取り、小作人、小農及び中農の困窮と闘争とは彼等に近づく機會を吾々に與へる。又吾々は彼等に連帶の證據を提示しなければならぬ。そして彼等が競賣に對し、無茶な租税や小作料に對し、耕地や牧場や山林の取上げに對し、地主や官廳の侵害や脅迫に對して闘争するときには、彼等に對して農業及び工業勞働者の支持を確保し、迫害された者を救援しなければならぬ。尙ほ逮捕され投獄された農民や農業勞働者及びその家族が法律上の保護も受けず、救援もされずにある場合が屢々ある。それらに對して救援會は救援の手を延ばさねばならぬ。

吾々は農村の最も積極的な分子から赤色救援會班を組織せねばならぬ。農民自身の中から農村役員を作り出すことは、赤色救援會活動にとつて極めて重要なことであるが、吾々はこの新たに作られた農村班を單にそのまゝ放任して置いてはならぬ。吾々はその活動をあらゆる方法によつて指導し支持しなければならぬ。都市赤色救援會員の農村訪問週間の組織は立派に認められた。同志達は集會、透視繪をもつたデモを組織した。又農村班との共同計畫に基き、家庭宣傳を個別に行ひ、書籍の販賣や基金募集等を行つた。この農村訪問が赤色救援會合唱團や劇團や「青服隊」等を伴ふ場合、或は又映畫の上演や映寫の説明などと聯絡を取つた場合には、一層効果的であることが證明された。收穫祝ひのやうな農村に特殊な機會も亦、宣傳の農民の間に齎らす機會を與へるものである。

農民の間から赤色救援會役員及びアチテーターを作り出すことが、熱心に行はれねばならぬ。最初は慥かに正規の講習會を行ふことが困難であらう。それ故に農村に居住する勞働者と都市の勞働者とは村落と聯絡を持ち、個人的指導に引き寄せられねばならぬ。彼等には又農村班の活動を絶えず注意することを命ぜねばならぬ。しかしその際監督するやうな様子を示すことは斷じて避けねばならぬ。これらの同志達は、自己の任務を極めて巧妙に遂行し、農村班の人達をして、いつでも同志としての氣持ちを以つて救援に赴む準備のあることを感ぜしめるやうにしなければならぬ。

農村に於けるわが赤色救援會組織は、投獄され逮捕された農民達の田畑の耕作及び生計の維持に盡力し、廣汎な農村大衆をこの救援活動に引き寄せねばならぬ。

國際赤色救援會の支部及び姉妹組織は、又農民に適當な赤色救援文庫の出版に着手しなければならぬ。それには主として勤勞農民の闘争や迫害に關する報告資料が基礎とならねばならぬ。赤色救援會の機關新聞もまたこの意味に於いて活動しなければならぬ。赤色救援會の宣傳のために、農業勞働者、農民組織の機關紙

を獲得することもまた大きな利益を齎らすであらう。

前述の諸々の忠告で農民の間に於ける赤色救援會の宣傳の全部を盡したのでは決してない。それは寧ろ各國に於ける赤色救援會組織の効果的な試みを暗示するものであり、農民の間に於ける吾々の活動の行き詰りを打開するには如何なる方法によつて可能であるかを示すことを目的とするものである。

——「モツナル」誌、一九三三年十月號ブローグの論文——

失業者運動と國際赤色救援會

資本主義が労働者階級の生活水準に對して一般的攻勢を行ふ形態の一つは、無慈悲な、容赦なき生産制限と、それに基因して、工場から街頭へ投げ出される幾百萬の労働者の残忍なる解雇である。とはいへ、すでに明瞭に見られるやうに、すべての國の資本主義は労働者階級に對して進撃を行ふことによつて、もつと奥深い謀反的な目的を追求してゐるのである。各國の資本主義は、失業の強力なる壓力によつて労働者の賃金を引下げ、又全労働者階級のすでに悲惨なる生活状態をより一層悪化させやうとしてゐるのだ。今年に於て資本主義國及び植民地國の全労働者階級が未曾有な規模の失業につき落された。工業に、商業に、運輸業に三千五百萬の失業があり、幾百萬の操短労働者、數百萬の失業農業労働者があり、そして失業者はその家族を合すると一億五千萬人から二億萬人に上つてゐる。少くとも世界の總人口の十分の一が、直接世界經濟恐慌によつて打撃を蒙つてゐるのである。我々は世界失業を分析する場合に世界經濟恐慌によつてプロレタリアートを襲つた、飢餓、貧困、困窮といふやうな、労働者階級に對する資本の攻勢の他の形態を考慮に入れなければならぬ。とはいへ、この數字によつて見ただけでも充分に、資本主義は必然的に勤勞大衆の貧困化を強める結果に立ち至ることを證明してゐる。

勝利したプロレタリアートが社會主義を建設してゐる地球の六分の一を占めるサヴェートの國に於てのみ失業がなくて、反對に労働力の需要の増加がある。労働人民委員會と經濟機關は、五百十八の新工場の建設を豫定してゐる本年度の經濟計畫の要求によつて、二百萬の新しい労働者（季節労働者を別として）を必要

としてゐる。資本主義國の恐慌とサヴェート同盟の社會主義建設の巨大なる前進は、サヴェート同盟に對する帝國主義諸國の軍事的攻撃性を強めてゐる。全帝國主義世界は、サヴェート同盟に對する戦争を準備してゐる。「サヴェート・ダンピング」に對して抗争するといふ口實の下に遂行されてゐる社會民主主義者及びファシストの國際的カムバニーヤは、労働者の状態の悪化にとつて責任ある者とそれらの者がサヴェート同盟に對する干渉の必要を確信してゐることから、資本主義諸國の労働者大衆、國民の注意をそらすことを目論んでゐるのだ。世界經濟恐慌の責任を「サヴェート・ダンピング」になすりつけやうとする我々の敵の企ては、失敗に歸し、それについて、サヴェート同盟に於けるかの「強制労働」のカムバニーヤが行はれた。ブルジョアジーは、サヴェート同盟に於ける失業の缺除をば、一般的な労働強制が存在してゐる結果であると説明してゐる。とはいへ、かゝる虚言もまた、労働者によつて信じられてゐない。といふわけは、最初の労働者、農民の國に於ける失業の掃は、社會主義建設の活動が有効に發展してゐる直接的な結果であることを知つてゐるからだ。

失業者と工場労働者の大衆的闘争が革命的に發展してゐることは、ブルジョアジーばかりでなく、社會ファシストも驚かせてゐる。一ヶ年餘りの間に、彼等は特別會議及び特別委員會に於て失業問題を取扱ひ、失業に對する大なる行動を豫告してゐる。第二インタナショナル及び國際労働總同盟は、一週五日制（一週四十時間制）のための闘争を約束した。とはいへ、この決議は單に紙上だけに止まつた。現實には全然別なことが行はれた。社會民主黨の大員及び警視總監は、失業者の飢えの叫びに對して棍棒と機關銃を以て答へた最初の人間であつた。ドイツに於て二月二十五日のデモの際に、ゴルマン街の職業紹介所に於て新に流血の慘事を演ぜさせたのは、社會ファシスト、グレゼジンスキーの警官隊であつた。ライプツヒに於て、社會

ファシスト、フライシユネルは街頭デモを禁止し、警察に命じて、棍棒のみでなく小銃及び機關銃をもつて残忍に示威を行ふ労働者を襲撃させた。多數の労働者が虐殺され、多數が傷ついた。イギリスに於てはマクドナルド及びヘンダーソンは印度、南アフリカ等イギリス植民地及び自治領の革命家を射殺するために、軍隊への志願兵の獲得を強化することによつて失業の問題を解決しやうと欲してゐる。

あらゆる資本主義國に於て、我々は失業者の大衆デモや大衆的闘争を見る。ブルジョアジーは資本主義的國家機構を以て失業者に對してゐる、機關銃をもつた警官の襲撃、ファシスト的な虐殺行爲は、日常的な現象である。大工業都市には労働者の血が流れてゐる。労働者は大衆的に牢獄に投げこまれてゐる。集會、デモ、飢餓行進は暴力的に彈壓され、もしくは禁止されてゐる。失業者の數百の家族は、家賃を拂はないために街頭に投げ出されてゐる。失業者に對して適用するために、浮浪者及び暴動禁止法が官憲によつて再び採用された。煽動及び宣傳、組織及びデモの権利が剝奪されてゐる。同時にブルジョアジーは外國の労働者に對する迫害を激しくし、そして革命運動に積極的に参加してゐるすべての勤勞者を失業問題を解決するといふ口實の下に、土着労働者と外國労働者との統一戦線を破壊することを目的として、流刑に處し、放逐し、あらゆる方法で迫害してゐる。世界經濟恐慌によつて特に強い打撃を蒙り、そして往々にして闘争の前衛をなしてゐる、分散し、屢々無組織の婦人及び少年も同様に選抜の警官によつて迫害されてゐる。それにも拘らず、すべてこれらの方策は高まりつゝあるデモの波を防止することができず、そしてその場合失業者の闘争は益々革命的な強さを得てゐる。到る處で工場労働者は失業者との統一戦線に立つてゐる。社會改良主義者の公然たるサポータージュ及び裏切りにも拘らず、下からの革命的統一戦線の昂揚を見ることができ、そしてそれは労働者階級の階級敵に對する有効な闘争の前提條件である。本年の二月二十五日のデモは、一九三〇

年の三月六日よりもすつと大なる程度に於て、勤勞者大衆の闘争精神と革命的意志を證明した。全世界の勞働者に對して國際機構が残すところなく動員され、デモを彈壓しようとして企てたにも不拘、未曾有の規模に於て大衆的闘争が行はれた。ブルジョアジーは催涙ガス及びその他のガス彈を利用したが、勞働者は偉大なる英雄的な勇氣を以てそれを打ち退りぞけた。勞働者は警官の哨兵線を打ち破り、警官の殘忍な行動にも拘らずデモを決行した。國際赤色救援會は失業反對闘争デーに積極的に參加した。各國支部の殆んどすべてが失業反對闘争國際デー（一九三〇年の三月六日及び本年の二月二十五日）の準備のために、失業保險法案の支持と制定のために、飢餓行進及びデモの組織のために動員された。我々の代表及び辯士は失業者の會議、協議會、集會に參加し、そして國際赤色救援會と失業者の闘争の連帶性を證明した。闘争への參加によつて牢獄に投げこまれ、もしくは迫害をうけてゐるすべての者並びにそれらの家族に對して、精神的、物質的救援及び法律上の保護が爲された。我々の國內的、國際的カムバーニヤは失業反對闘争として緊密に結びつけられ、そしてその場合國際赤色救援會は、失業者に對するブルジョアジーのテロル反對の闘争を組織し、指導した。

失業反對闘争に於て、國際赤色救援會は極めて重大なる役割を演じ、そしてそれは、警官の殘忍な行爲ブルジョアの階級司法、ファシズムと社會ファシズムに對する闘争のうちにある。何故ならば資本家階級は勤勞者にテロを加えるためにその全機構を動員してゐるからである。この場合、庇護權のための闘争、外國勞働者の迫害反對闘争、すべての政治犯人釋放のための闘争、浮浪者、暴動禁止法反對の闘争、デモ及び組織權のための闘争、言論及び出版の自由のための闘争が附け加えられる。この任務に更に附け加えるに闘争の間にブルジョアジーによつて牢獄に投げこまれ、もしくは迫害をうけたすべての人に對して物質的、法律

的救援を保證することを以てしなければならぬ。この場合國際赤色救援會は、この任務を果すために、就業勞働者と失業勞働者とを強力に統一戦線に於て動員しなければならぬ。失業勞働者と、就業勞働者との連帯は、テロ及びファシズムに對する闘争、及び階級闘争の犠牲者の物質的、法律的救援を有効に行ふための前提條件である。國際赤色救援會は失業者闘争のすべての事件に參加しなければならぬ。我々の各支部はすべての失業者評議會、失業者委員會と密接に結びつき、すべてのデモに自己の辯士を送らねばならぬ。警官の暴行及び失業者の迫害に對して抗議するための特別な會を、特に工場の前で、組織しなければならぬ。同時に、我々は我々の全活動をこの闘争に結びつけ、その闘争を通じて我々の組織を強化せねばならぬ。幾百萬の勞働者は、就業してゐると失業してゐるとを問はず、資本家階級が勞働者の闘志及び革命的意志を抑壓するために用ひる方法を、身を以て體驗してゐる。彼等は以前とは異つて現在こそ、社會ファシズムの裏切的役割を知つてゐる。そして社會ファシズムこそ、飢餓及びファシズムに反對する勞働者の統一戦線の不俱載天の敵なのだ。國際赤色救援會はこの事柄を幾千の勞働者を自己の陣列へ引き入れるために利用し、そして白色テロ、階級司法及びファシズムに反對する勤勞大衆の統一戦線を作らねばならぬ。

革命的青年と赤色救援會

革命的青年は資本主義、軍國主義、ファシズム及び階級司法に對して絶えず攻撃を行つてゐる。カール・リ
ーブクネヒト派の青年達が社會的裏切者の舉國一致を粉碎して、戦争に反對して闘つたやうに、今日も亦世
界中の革命的青年はあらゆる經濟闘争及び政治闘争の第一線に立つてゐる。戦争中ブラウン・シュバイゲル
の見習工が戒嚴状態にも拘らず、ドイツ政府の緊縮命令及び軍事公債の強制發行に反抗してストライキを決
行して勝利したやうに、今日も男女の革命的な青年達はファシズム、社會ファシズム、白色テロにも拘らず
改良主義的及びキリスト教的労働組合指導者の「經濟的平和」を打破し、脅威的に切迫しつゝある新らしい
帝國主義戦争の危険に對して闘ひ、サウエート同盟を擁護してゐる。

經濟恐慌の結果、青年労働者は益々階級闘争の中心點に押し出され、そして彼等が革命的に進出する結果
として、ブルジョアジーは青年労働者、婦人労働者及びその組織に最も猛烈な攻撃を向けてゐる。資本主義
的合理化が進むにつれて、青年労働者は成人労働者の労働能率を背負はされ、それによつて更に資本主義的
生産過程に於ける革命的青年の意義が異常に高まりつゝある今日、青年労働者の参加しない政治闘争及び經
濟闘争は殆んど絶無である。

ドイツのマンズフェルトの闘争の間に、見習工達は全員残らずストライキに参加した。コンスフェルト地
方のストライキ指導部の大部分は、青年労働者から成つてゐた。彼等は始めてストライキ、ピケ及び傳令團
を組織し、ストライキ破り及び官憲の暴行と闘ひ、失業者と共にプロレタリア自衛團を組織した。彼等は如

何なる犠牲をも厭はなかつた。何故ならば彼等はドイツ赤色救援會の連帯性にたよつてゐたから。この信頼
が罷業者の結束及び頑張り到大いに役立つたのである。

オーストリアに於ては(その他の青年労働者と並んで)、十萬の見習工が三年乃至四年の間殆んど無報酬で
搾取され、それから資本主義的豫備軍に編成されて失業登録所へ移されてゐる。社會ファシスト的な労働者
スポーツ聯盟にごまかされない青年労働者は、ファシスト達の公然の經濟的、政治的の攻撃を受けてゐる。
かくして最近見習工のストライキが破壊され、打ち砕かれた。見習工の虐待及び干渉教育に對する闘争はオ
ーストリア赤色救援會によつて第一線に置かれてゐる。

フランスでは青年の法律上の保護は一つもない、八時間労働制は唯單に紙の上に止まつてゐる、社會保險
は青年に極く僅かの手當しか與へてゐない。革命的青年への残忍な迫害がフランス赤色救援會に重大な任務
を課してゐる。

スウェーデンに於ては企業家の賃銀値下攻撃に對抗したガツタ工場の三百の青年労働者がストライキに入
り、五十エールの賃銀値上げを闘ひ取つた。

上海の織維産業に於ては——青少年達はそこで日夜搾取されてゐる——、青年労働者が絶えず次々と賦起
し、政治的、經濟的ストライキを遂行してゐる。中國サウエート地域の革命的農民軍、及び赤軍が主として
革命的青年労働者及び青年農民から編成されてゐることは、周知のことである。中國の労働組合が弱いため
に中國赤色救援會は中國革命の犠牲者を救援する唯一の組織である。

印度に於て、印度ブルジョアジーの表面上の闘争から轉じて、イギリス帝國主義及び土着ブルジョアジ
ーと闘ふ革命的青年労働者及び青年農民大衆は、すでに幾千人となく虐殺された。投獄された六萬の印度革

命家の大半は、革命的青年の闘争戦線から奪はれたのである。メーリート牢獄の被告及びその他の者の辯護のためにイギリスから辯護士を送らうとする、イギリス赤色救援會の努力も、イギリス「労働黨政府」の頑強な反對のため水泡に歸した。

アメリカの織維工場及び海運業に於ては、青年の六十%迄が何等の労働組合の支持も無しに働いてゐる。しかも彼等は、二つの成功的なストライキを決定してゐる。「社會的な」フォード商會には、六萬の使用人中四十%の黒人青年がゐる。この黒人青年達はアメリカ中どこでも同じやうに白人労働者より少ない勞賃しか受けず、しかも人種的情悪を高め、私刑を刺戟するために労働の場合にさへ白人と引き離されてゐる、アメリカ赤色救援會は、アメリカ・ブルジョアジの私刑殺人に反對して黒・白人労働者の國際的革命的連帯への結合擁護のために最も烈しく闘つてゐる。

ブルガリアの煙草工業には大抵青年が就業してゐる。労働時間は十二乃至十四時間である。ブルガリアの青年労働者及び農民青年の間には革命的精神が異常に發達してゐる、彼等はすべての警官及び憲兵の襲撃の際に力限り働いて、そして恐る可き階級裁判、牢獄内の身の毛もよだつ拷問に毅然として耐えてゐる。赤色救援會の精神的、物質的救援が彼等の革命的勇氣を強めてゐる。

ポーランドでは青年が、ロツツの工業中心地で殆んど三ヶ月間少しの報酬も貰はないで労働してゐる、際限のない經濟的搾取にかへて加へてファシスト的テロルが行はれてゐる。革命的青年労働者に對するレムブルグの三つの死刑宣告に續いて、新にジアラ・ボドラスカに於て革命的青年労働者に對する死刑宣告が行はれた。しかし國際赤色救援會は萬國の勤勞者の抗議の嵐を組織することによつて最初の三人の労働者を死刑執行人の手から奪取したが、こゝに再び新たな犠牲者の救援のために全世界に檄してゐる。

青年労働者の非人間的な搾取の證明として、吾々は無數の例を引き出すことができる。日々青年労働者及び婦人労働者がブルジョアの階級法廷に引き摺り出され、幾千となく牢獄に投げ込まれ、そして殘忍な拷問を受け、虐殺されてゐる例を、吾々は山のやうに積み重ねることが出来る。

ガストニアの織維労働者の闘争の際に、青年労働者は白色司法によつて合計百十七年の刑の宣告を受けた。國際赤色救援會の力強い抗議カムパニヤとアメリカ赤色救援會の活動を目前に見て、初めてドル・ブルジョアジはサツコ・パンゼツチ事件を繰返そうとする計畫を投棄して、そしてすでに十三年間醜惡な法律陰謀の無實な犠牲者として牢獄で呻吟してゐるピリング及びムーニイの運命を彼等に背負はせやうと決心してゐる。

アルゼンチンの暴兵は、そのファシスト革命の際に青年の大衆的逮捕を行ひ、そして革命的青年運動の指導者を射殺した。他の南アメリカ諸國に於て青年はアメリカ帝國主義に買収された自己逮捕者に敵對し、多くは非合法的に闘つてゐる。

他のすべての資本主義諸國に於けると同じやうに、フランス帝國主義もまた、その軍隊の破滅を恐れて革命的青年に對して苛酷なる刑罰を加へてゐる。一九三〇年の五月には十一人の青年労働者が、共產青年新聞「前衛」を配布したと云う理由で二十三年の懲役を宣告された。次いで七月には新たに二十一人の兵士達が、革命的宣傳の罪で四十六年十ヶ月を宣告された。

バルカンの地獄はよく知られてゐる。政治的公判の公開禁止、野蠻な拷問と彈壓方法の競争——ブルガリアでは、今年の八ヶ月の間に七十の政治的公判が行はれ、八十四人の被告が六百九十八年六ヶ月の懲役を宣告された。二百四十八人の被告の三十三件の公判がまだ残つてゐる。ルーマニア及びユーゴスラビアでも同様である。そこでは革命的男女青年労働者に對して、同様に恐るべき狂氣の投獄が荒れ狂つてゐる。共產主

義青年同盟及び赤色救援會の指導者ジャコヴィツチ及びヘチモヴィツチは「逃走中」射殺された。ルーマニアでは少年でさへ捕縛され、拷問された。恐る可き監獄政治は、政治犯人——その中には幾百人もの革命的青年労働者がある——をしてハンガー・ストライキによつて自滅させつゝある。今年の九月二十四日にはオラダ・マアレの監獄に於て十七人の政治犯人が二十日間ハンガー・ストライキを戦つた。今年の八月二十五日にギリシヤでは、二十九人の青年労働者スポーツ團員がデモに参加したと云ふ理由で捕縛され、荒涼たる地中海の囚人島に流刑された。これがバルカンのファシスト的姿である。

年中引つきりなしに、三月六日（一九三〇年の國際失業反對闘争デー）五月一日、八月一日（國際反戦デー）十一月七日（ロシア革命紀念日）に於て、嗚しかけられ人殺しの訓練を受けた警官の暴力團は、あらゆる國々に於てデモを行ふ革命的な青年を襲撃した。一九三〇年の青年デーにライブツヒでは二人の青年労働者が警官に殺された。十月の初めには青年デーに参加した十五名の労働者が、ブルジョアの階級裁判に附せられ挑戦してきた二人の警官をやつつけたと云ふ罪名で死刑を求刑された。

ブルジョア階級司法は、死刑の宣告やテロで革命的な青年を屈服させ、サヴェート同盟に對する戦争を準備し得ると信じてゐる。だがそれは無益だ——ファシスト的牢獄の恐ろしさを目のあたりに見、赤色救援會に保護された青年は、決して今後の革命的闘争を放棄しないであらう。白色テロルが如何に烈しからうと革命的青年は自分の道を切開く。

彼等はブタベストで九月一日に警官のサーベルの下に於て赤旗を掲げた。彼等は、イタリイで新らしい革命的反亂の先頭に立つてゐる。そしてこの反亂はムツソリーニのファシスト的殺人統治の終焉が始まつたことを意味する。革命的な、國際的に闘争してゐる青年男女労働者は、資本主義支配及びファシズムを打碎く

ハムマーである。

迫害の波が高まれば高まるほど、勤勞青年の革命的戦線は益々強く且つ廣汎となり、又彼等の大衆行動への轉向及び全青年男女労働者の革命的大衆闘争への参加は益々強く且つ早くならざるをえない。

つい最近開かれ、五十人以上の青年男女労働者が代表された國際赤色労働組合第六回大會は、世界的規模に於ける勤勞青年の闘争の道を討議し、闘争の今後の展望とテムボをスケツチした。討論の際にも決定の採用にあつても、青年労働者の代表と他の代表者との間には完全な一致があつた。かくして國際赤色救援會に關する決議に於ても、ファシズム及び社會ファシズムの擴大、白色テロル及び階級司法の尖鋭化と關聯して、赤色救援會の廣汎なる組織が必要であることが強調された。そして救援會の任務はあらゆる國々に於いて白色テロルに對して闘争することである。更に廣汎なる大衆の間に於ける國際的な教育活動に對する國際赤色救援會の意義が力説された。労働組合組織は、國際赤色救援會内に於けるその共同闘争を強化し、階級的政治犯人の釋放及び亡命者庇護權のためのカムバーニヤを共同に遂行すること、特に新會員獲得の際及びそのカムバーニヤ遂行の際に、國際赤色救援會を支持することを要求された。同時に大會は、又すでに國際共産青年同盟第五回世界大會に於ける赤色救援會に關する決議で決定したところの赤色救援會への働きかけをば、労働組合の青年労働者のために具體化した。

國際共産青年同盟の第五回世界大會の決議は、國際共産青年同盟員はすべて國際赤色救援會會員でなければならぬこと、どこでも赤色救援會組織の指導部内に國際共産青年同盟の代表者が送り込まれねばならぬこと、また赤色救援會細胞もしくは班が存在しないところでは國際共産青年同盟の支持者はかかる赤色救援會組織を作るためにイニシアテイツをとること、等々を規定した。

かゝる任務の大部分はまだ満たされてゐない。そしてこれらは自己の決定を残すところなく遂行することを革命的青年に絶えず要求してゐる。二三の支部、就中ドイツ及びサヴェイト同盟に於いては、共産青年同盟は、この決定に従つて青年を赤色救援會へ加盟させ、彼等を赤色救援會のあらゆる問題に精通させることを任務とする、赤色救援會イニシアチブ・グループを作れといふ指令を與へた。かゝるイニシアチブ・グループは至る所に作られねばならぬ。

諸決定の遂行に關する青年組織の自己批判が公然であればあるほど、それ丈早く革命的青年労働者の國際救援會に對する相互關係が良くなり、強固にされ、闘争に於いて勤勞労働者と國際赤色救援會と相互の効果が擧げられると云ふ方向に進むであらう。

それはあらゆる國々に於いて、ファシズム及び社會ファシズム反對、白色テロル及び階級司法反對、民族的壓迫及び植民地壓制反對、帝國主義戰爭反對、サヴェイト同盟擁護の爲めの決定的闘争に前進し、實踐的、革命的、國際的連帶の意味に於いて廣汎なる大衆を教育する途である。

すべての青年労働者及びすべての青年婦人労働者は積極的な赤色救援會員でなければならぬ。

——「ソツブル」誌、一九三〇年十二號ミニラーの論文——

國際赤色救援會へ婦人を獲得せよ

革命的階級闘争に於ける婦人労働者及び労働者の妻の活動性が高まりつゝあるのに對して、企業家等は強力なテロル、尖鋭化する監獄制度、増大せる迫害手段をもつて應酬してゐる。階級意識にめざめ、プロレタリア革命への闘争へ参加しつゝある婦人等の感激が打ち破られ、搾取者支配に對する昔の屈従と忍辱とが再び惹き起されようとしてゐる。企業の制限、婦人の、特に結婚婦人の企業からの解雇通知及び突發的な放逐、ブラック・リストの作成、正規の免狀及び證書の拒絶等々の威嚇等の經濟的壓迫がなされるだけでなく企業家は亦、スパイ、家宅搜索、逮捕、階級裁判等によつて、婦人労働者が屢々起こす自然發生的な運動を蹂躪し、その中から優秀な役員を掠奪し、闘争しつゝある婦人を威嚇するために、ブルジョア的な權力機構を極度に活用してゐる。

あらゆる國の社會民主主義黨は、婦人労働者に對するブルジョアジーの暴力手段に何等積極的な反抗をなさなばかりでなく、むしろ彼等役員の中の多くの者は密告者—裏切者の活動をなすことによつて、資本主義諸國の企業家、ファシスト的テロル、軍隊、權力機關等に奉仕して婦人労働者を迫害し、壓迫してゐる。

かくて、労働者の妻及び婦人労働者に對するテロルは、婦人労働者の闘争の激化と共に益々増加してゐる。國際赤色救援會の任務は、闘争の中にあつて追求され、迫害され、逮捕され、そして有罪判決を受けた婦人労働者を救援し、彼等の背後に國際プロレタリアートの存在すること、地球上のあらゆる國々の幾百萬の男女勤勞者大衆が彼等と共に闘争してゐることを彼等に示すことにある。國際赤色救援會はプロレタリア的

連帯を通じて、婦人に對し、彼等が個々の闘争を行つてゐるのではなく、階級の闘争を、全勤勞者の革命的解放闘争を遂行するものであることを示すことを欲する。事實プロレタリアートの婦人にとつてこそ、總ての國々の勞働者階級との連帶的結合といふこの意識が非常な重要性をもつ。何故なら彼等婦人は屢々全く本能的にプロレタリアートの戦列へはいり、自然發生的に運動の中に這入り、往々にしてまだ階級的に理解されてゐないところのブルジョアジー及びその執行機關の抑壓と暴力との下に二重に惱んでゐるからである。

赤色救援會の任務は婦人の間に強い反響を見出してゐる。婦人會員こそ赤色救援會の陣列内で屢々最も熱心な最も犠牲的な分子であり、最も活動的な、最も活潑な役員である。したがつて勤勞婦人の廣汎な層を従來よりもより一層國際赤色救援會に獲得しなければならぬ。

特に適切な會員獲得方法として次のものを擧げ得る。即ち裁縫所、並びに兒童ホームや政治犯人の家族のための衣服、生活資料日用必需品等の蒐集場所を建設すること。そしてそこでは政治的啓蒙、講義、討論報告等のために婦人の集合が利用される。更に婦人赤色救援會員による保護者活動の遂行、二三の婦人勞働者シンパサイザーと一緒に政治犯人及びその家族の訪問、或は婦人赤色救援會員により田畑、即ち「赤色救援會地帯」の共同耕作、ここからの収益は現物のまゝで入獄者の家族の處分にまかせられるか、或はその収入は犠牲者救援のために、赤色救援會組織の救援活動のために利用される。次に赤色救援會のカンパ、赤色救援會支持の集會を組織すること、眼覺めつゝある婦人の間に於ける宣傳のための政治的集會への婦人赤色救援會員の出席、赤色救援新聞と文献の編輯活動と販布。同時に、赤色救援會の任務に關しての煽動と啓蒙とを目的としたる勤勞婦人の會議、婦人代表者會議、勞働組合、協同組合集會等に於ける討論への参加。抗議の決議文及び電報並びにその時々赤色救援會カンパ支持のための挨拶狀の發送の勧誘。

地區グループ、地方及び中央執行部の中に婦人委員會を作ること亦好結果を示した。その場合役員や赤色救援會の婦人活動に興味を持つ會員が一定期間規則的にこの委員會に参加し、新婦人會員の獲得と教育のための方法や成果に關して討議するのである。だがこのことは、如何なる状態の下に於ても、又如何なる場合に於ても婦人班を形成するといふ結果に導いてはならぬ。むしろ婦人會員は絶えず全活動並びに赤色救援會のあらゆる一般的な集會へ引き入れられねばならない。赤色救援會の指導機關内の婦人の數は、少くともその會員數に相應す可きである。政治的に屢々全然無教育である婦人會員は、婦人教育講習會を行ひ、婦人委員會會議を開催し、そして極めて理解し易い、婦人にとつて卑近な題目をとらへて赤色救援會の一國的、國際的カンパと行動とを、簡單明瞭に説明することによつて啓蒙しなければならぬ。かくすることによつて婦人は闘争を正しく理解し、實行するに至るのである。婦人會員の間で新しい婦人勞働者を獲得するため、及び特に婦人従業員をもつ工場内に工場班を結成するための競争が組織される可きである。

墮胎のことで、及び私利によらざる墮胎補助のことで罰せられたプロレタリア婦人の釋放、避妊の方法の啓蒙の自由と墮胎禁止法の撤廢のための革命的組織の闘争は、赤色救援會によつて最も強力に支持されなければならぬ。婦人勞働者の生活や闘争に關する寫眞、フィルム觀覽の催しも亦同様に、最も廣汎な範圍のプロレタリア婦人をして國際赤色救援會に對して注意を喚起させるのに適切である。プロレタリア的組織のアジ・プロ隊は、従來よりも一層國際赤色救援會活動の光景や活動の内容に密接に結びつく様に努力されなければならぬ。なぜならこれらの催しには屢々幾多のプロレタリア婦人が現はれて來るから。プロレタリア的大衆組織(勞働組合、協同組合、スポーツ團、借家人同盟、自由思想家同盟等々)の中に於ける赤色救援會の會員募集に際しては赤色救援會の個々の會員としてこれらの組織の婦人成員を獲得することが特に重要である。

例へば逮捕、虐待、判決、その他闘争しつゝある婦人労働者に対するテロルに對し、赤色救援會婦人の公然たる示威行動は偉大なる効果があつた。かかる大衆的集會の開始前か、終つた後に、當該テロル國の領事館前に於けるデモや示威、行動、議會と大使館への代表の派遣等が組織され得る。プロレタリア婦人階級闘士が呻吟してゐる牢獄の前では、彼等の釋放の要求を掲げた連帯、抗議の集會が催さる可きである。

社會救援委員會やその他によつて、救援の口實の下にプロレタリアの家族の中へ反動的宣傳をもちこみそれらの家族を墮落させることによつて反動と階級裁判とを支持せんとするブルジョア的な、特にファシスト的な婦人同盟に對する闘争も亦、國際的赤色救援會は從來よりも一層これに力を盡さなければならぬ。

國際赤色救援會は、婦人労働者、農民婦人、プロレタリア家婦、婦人使用人、婦人官吏等、即ち總てこの勤勞者層の婦人の大多數を包括する組織とならなければならぬ。國際赤色救援會は、その任務と行動とを單純なプロレタリア的感情によつて導かれる勤勞婦人に密接に結び付け得れば得るほど益々多くこれをなしうる。國際赤色救援會は、計劃的な、辛抱強い教育活動に於いて、婦人會員に國際的なプロレタリアートの連帯性を教育し、彼等を全労働者階級解放のための確信ある婦人闘士に仕上げなければならぬ。

婦人を赤色連帯戦線へ最も廣汎に引き寄せることによつて、國際プロレタリアートの眞實の大衆組織を作り上げよ！ 婦人を國際赤色救援會へ獲得せよ！

——「モツブル」誌、一九三〇年七月號メルクの論文——

少年と赤色救援會

あらゆる資本主義諸國並に植民地諸國に荒れ狂つてゐる階級闘争に於て、貧窮なプロレタリア少年は支配階級の二重の犠牲者である。彼等は直接的な迫害と虐待を受け（學校、職場に於て、又もし革命的意識を有する時はその反宗教的、反愛國主義的等の態度の故に迫害される）、そして又間接には彼等の両親に對する迫害とテロルの下に苦しめられてゐる。（両親が逮捕され、虐殺され、追放された等々の場合に於て）。

少年が資本主義的生産過程へ引き入れられるに従つて、婦人の採用が絶えず減少してゐる。資本家に取つては少年労働は、搾取を最大限にするための最も理想的な基礎である。より低廉な勞賃、相互契約の義務をともしない雇傭、少年のストライキ参加の禁止等々。植民地諸國の勤勞者の總數に對する勤勞少年の數字の割合は常に莫大であり、彼等の非人間的な待遇は誰をも吃驚させる。最近エチプトの少年労働に關する報告によつて大センセーションが惹起されたが、この報告は二十四年間イギリス工場監督官であつたアデレード・アンダーソンが國際労働局の「批評」に公表したものである。この報告はエチプトの紡績及び生絲業に於て親しく目撃したところを明瞭に述べてゐる。「屢々六年六ヶ月位の、最もかよはしい少年が工場で働かされてゐる。サイレンの唸りや鐵のカチ／＼いふ音のために少年、少女は眠れないのだ。」更に報告は曰ふ「多くの工場で少年が殆ど機械的に監督のために棒や鞭で殴られるのを見たときは實に苦痛だつた。監督は一寸通つて見たときも、かうやつて少年を酷使してゐた。時々、少年は頭を殴られたが、それは實際危険な虐待方法である。國際労働局の機關紙の如きブルジョア新聞でさへこの事實に對して憤慨してゐるとすれば如何に恐

るべき待遇であるかを我々は容易に想像し得るのである。報告によれば、木綿脱顆工場に於ける労働者の半数は十五歳以下、多数は九歳以下である。そして二三の工場では、未報告の調査によれば五年半しかならぬのに「急速な機械」のやうに働き、その容貌はもはや少年とは思へぬやうな幼年達が發見された。

生産に於ける少年の經濟的搾取及び非人間的な待遇と並んで、プロレタリアの革命的組織（赤色ピオニール等）に屬する少年の迫害、處罰も行はれてゐる。一九三〇年の夏ベルリンで開かれた第二回國際少年大會に對する警察の襲撃、野蠻な暴行及び種々の彈壓等を指摘すれば充分であらう。この日百名以上の少年がベルリンで捕へられた。官憲は、外國のピオニール代表が宿泊してゐる労働者の住宅さへも襲つた。ハレの社會民主黨の警視總監は「衛生上の危險」といふ理由からこの地方で少年大會を開くことを禁止した。ロシア代表のドイツへの旅行は禁止され、バイエルの文部大臣は、少年大會へ參加することを極力禁止した所の指令を發した。他國に於ても同様である。合衆國に於ては、赤色ピオニールの夏期合宿所は、政府の支持を受けたクー・クラックス・クラン團のために襲撃された。猛り狂つた群集は、少年達の揚げた赤旗を引き下し、アメリカの星條旗を掲揚せよと要求した。二名の少女、マーベル・フーサとアイレネ・ホウムズは、少年達と一緒にその要求を斷乎として拒絶したために逮捕された。彼女達には三ヶ月の禁錮刑が宣告され、同時に少年合宿所も全く破壊され、解散されてしまつた。印度のボンベイに於ては「バル・パトラート・サバー」(革命的青年組織)の成員である十歳の少年ハルバンズ・ラールに四ヶ月の判決が與へられた。シアルコートに於ける政治的集會に於て詩を朗讀し、それによつて煽動的言辭を弄し、若しくは弄せんとする意向を有したからだと云うのである。

その兩親に對する追求並に白色テロルの結果蒙る少年の困苦たるや、最早これ以上の喋々を要しない。圖

際赤色救援會は階級闘争の犠牲者の孤兒の救援（赤色救援會兒童ホーム、物質的救援等）に特殊の注意を拂つてゐる。その父親が獄に繋かれ、又は追放された孤兒や少年はかくして彼等の扶養者を失つたばかりでなく、最も恥づべき奸策の下に置かれたのである。彼等の父親が獄に投ぜられたがために學校の先生や近所の者は彼等を嘲笑するやうになり、他の少年達からは後指を指され、仲間に入れてくれなくなる。若しこの少年がなほ充分に革命的精神に貫かれてゐない場合には、階級闘争の犠牲者の孤兒や少年に與へるかゝる壓迫の精神的結果は極めて危険であり得るし、彼等は自分達を低能兒だといふ風に感じるであらう。かくてこゝに初めてこれら少年を動員する直接的任務があらゆる國際赤色救援會の組織の双肩に懸つて來るのである。これらの少年を物質的に救援すること丈が國際赤色救援會の義務ではない。吾々は又彼等を道徳的に教育することにも責任を果さねばならぬ。曾て殺害されたガストニアのエラ・メーの孤兒がさうであつたやうに階級闘争の犠牲者の孤兒がブルジョアジーの手中に陥ることを傍觀することは許されぬ。

今や少年は如何にして國際赤色救援會に動員されるべきか、又國際赤色救援會は彼等に興味ある活動を如何に展開すべきであるか？

この領域で良き成果を収めるためには、何よりも先づ一同志（結局は少年の間で活動するに最も適した一婦人）の指導の下に少年部が創設されなければならぬ。我々は先づ國際赤色救援會會員の兒童、被殺害者、被投獄者、被迫害者、被追放者等々の兒童を夫々適當の組織へ引き入れることから始めねばならぬ。次に少年班が創設されるべきであるが、それは單に成年者のための班に對比するものであつてはならぬ。少年班は年齢に従ひ、種々の層の特質に従つて、極度に柔軟性のある多様の形態で作られるために充分生きくと彈力あるものでなければならぬ。その活動は興味多く、少年の性能にふさはしいものでなければならぬ。少年ス

ボーツ、演劇、遠足はプログラムの一部でなければならぬし、同時に文化活動（教育的な映畫、コーラス、革命的唱歌等）に最大の注意を拂ふべきことを附言しておく。

すべての國際デー並に赤色救援會のカムパニーに際しては、赤色救援會少年班は種々の目的特に牢獄内の政治犯人の面會、階級闘争に斃れた革命的犠牲者の墓参のための少年代表として、又、基金募集及び種々の目的のための特別の署名表の配布等の代表として利用し得る。一切の公然たる革命的デモンストレーションに少年班は特殊のスローガンを掲げてこれに参加しなければならぬ。

赤色救援會少年部は、現存する少年の諸組織の間に於ても活動せねばならぬ、そして例へば赤色ピオニール組織、スポーツ組織、學校の會並に經濟的團體の如き少年組織の中に赤色救援會班を創設せねばならぬ。その際全赤色救援會少年活動の主要目的は、すべての少年を階級連帯の精神で結びつけ又ブルジョアの兩親や資本主義的學校の教師から植え附けられた排外主義反對、人種的偏見反對の闘争を起すことではなければならぬ。

五月一日より十四日まで國際少年週間が戦はれる。少年こそ未來の革命的諸運動の最大の豫備軍を成すにも拘はらず、少年活動は既に久しく立遅れとなり、過少評價されてゐるが、この時機に於てこそ少年活動の基礎を創らねばならぬ。

——「モツプル」誌、一九三一年四月モドツチーの論文——

反帝同盟と國際赤色救援會

植民地で革命的解放運動が素晴らしく發展してゐる結果「國際赤色救援會」と「反帝同盟」との協働が緊急の問題となつて來てゐる。

この二つの組織は夫々自身自身の任務をもつてはゐるが、しかし何方の任務も同じ目標を追つてをり、またお互ひに補足し合つてゐるものである。だから、植民地活動に於てこの二つの組織が共同活動を行ひ、お互ひに援け合ふことは出來得ることだし、それに目的にそつたことでもある。

資本主義國の國際赤色救援會と「反帝同盟」とがもつと密接に協働すれば、今日植民地運動がもつてゐる歴史的重要さにふさはしいまでに植民地諸國の革命的解放闘争に對する大衆の興味を高め、大衆の救援活動を高める上にたいへん助けになるのだ。最近の數年間植民地で巨大な事件が起つたが、資本主義國での反響はその割に大きくなかつたといふのが偽りのない所だ。組織的活動をやつたのは共產黨だけだつた。資本主義國では革命に同情を持つてゐる者で有色人種の革命家の運命については白人のときほど心配しないやうに見えることがよくある。

支那革命やアラビアの事件や印度解放闘争や黒人の叛亂の折にふれて同盟が資本主義國で一般的な大運動を喚び起し得たことはこの三年間に唯の一度だつてない。宣言を出すことは出した。新聞の上でのカンパニーもやつた。集會も開いたし時折は領事館の前でデモもやつた。極くたまには、植民地に送られる軍隊の中で活動が行はれた。だがたつたそれだけだ。一九〇五年の第一次ロシア革命のときは、ヨーロッパで一般

的な運動が捲き起されたものだが、近年の植民地の革命については、そんなことは起らなかつた。また資本主義國にある國際赤色救援會の支部が植民地の闘争支持のために今日までやつたことも、同じやうに不充分と言ふ外はない。革命家にテロが加へられた場合の抗議カンパニーといった最も簡単な手段でさへ相手が白人の場合の方が一層強く行はれるし、またその影響も大きいやうに思はれるのも度々のことだ。昨年九月長沙が支那の反革命の手にとり戻されたときには二日間に三千人の革命家が死刑になつた。そのとき資本主義諸國では、どんな反響があつたか？ 資本主義國にある國際赤色救援會の支部は實際に何をしたのか？

ユーゴスラヴィアか、ブルガリアか、ハンガリー、または北アメリカで三十人が死刑に會はうものなら、ヨーロッパの大衆の心には長沙で三千人が死刑にされたよりもつとつと強く響いたことだらう。もう一つ例をあげよう。印度のメールトの囚人（譯註——一九二九年三月二十日イギリス帝國主義は印度の革命の労働者運動の指導者三十二名を逮捕し、これをメールトの牢獄に一回の取調べもせず放り込んでゐるのだ）のためにどれ程のことが資本主義國で實際にやられたか？ 全くほんの少しだ。しかも植民地の戦士を救援するためになされることはどんなことでも植民地では大きな政治的意義を持つのだといふことを知らねばならない。パレスタインのアラビアの叛亂についての檄がベルリンで出されたといふことだけで、すべてのアラビア諸國に大きな影響を與へたことがある。一九三〇年の春アフリカの植民地の黒人がハンブルグで黒人大會が開かれるとおぼろげに聞いたゞけで、この單なる噂が、ガンビア、ニジェリア、カメルン、南アフリカ、東アフリカの土人大衆を元氣づけ、政治的に活潑にならせたのだ。若しメールトの囚人のために全資本主義世界で國際的な大掛りの寄附金募集が巧くやられ、それに伴つて集會やデモがやられたなら印度で民族革命を指導する新しい幹部を養成する上にも、現在の民族改良主義的指導部を克服する上にも大きな力があつたであらう。

人類のもつとよき組織と未來とを信じ、資本主義的、帝國主義的秩序が消滅す可き運命にあるを信じ、且つ力を共にしてそれを顛覆しやうとするすべての人にとつては、有色の闘士も白色の闘士も甲乙があつてはならぬ。支那、印度、印度支那、インドネシア、フィリピン諸島、朝鮮、臺灣、アラビア諸國、アフリカ黑人住居地方等の革命闘士の救援があらゆる國々に於て今までよりつと廣汎に行はれなければならぬ。植民地で行はれてゐる闘争をば對岸の火災視して、たゞ理論上だけで植民地の闘争に對することに満足してゐるようなことがあつてはならぬ。世界革命といふ全體的な見方からすれば、植民地の戦線もその重要さに於て全資本主義國の戦場に劣るものではない。植民地の闘士及び犠牲者の救援を眞に大掛りにやることは非とも必要である。「反帝同盟」も「國際赤色救援會」も、植民地の支援活動を倍加しなければならぬ。この二つの組織が協働するといふ問題は切實な問題となつた。

ではこの協働を實現するためにはどうしたらいいか？ この二つの組織は個々の國へその各支部を創設するに當つてさへ相互に助け合ふことが出来る。「反帝同盟」はしつかりした結合をもつてゐるのに、國際赤色救援會組織はまだ作られてゐないといふやうな國がある。かかる國では同盟員は國際赤色救援會支部をも設立するためにイニシアチブをとつて、これを援助す可きである（準備委員會、個人會員及び團體加盟會員をもつ二三の地方的グループ、全國會議の設置、全國的執行部の選出、國際的執行部との連絡）。國際赤色救援會組織があつて、反帝同盟がない國では「國際赤色救援會」の活動家は前と同じやうな方法でとりかゝらなければならぬ。どんな國でも、この二つの組織が存在すべき場所がありそれらの爲すべき仕事も充分にある。双方の組織の指導部内に同一人が多數を占めたり、集會に何時もきまつて同一演説者が出たり、檄文に同一の署名を付したりすることは避けなければならぬ。だがこの二つの組織がその中央指導部に相互に代表

を送り、その代表によつて相互の連絡とその活動を確實にするといふことは、可能であるばかりでなく、極めて目的にかなつたことである。兩者は、その會員をして會費を規則正しく納めることに慣れさせねばならぬ。國際赤色救援會も「反帝同盟」も、形式的ばかりでなく、實質に於ても超黨派的組織であつて例へば黨、若しくは勞働組合よりも廣汎なものであることを欲するし、そうでなければならぬ。多くの國に於てこれらの組織は合法的に存在してゐる。少くともこれらの國々では、これらは強固な組織として成立することが出来る。かゝる事情の下では、國際赤色救援會及び「同盟」の各國支部が上部からの物的援助を當てにするといふことは、絶対に不可能である。自分の活動によつて自己の支出（その活動及び援助の支出をも）を自ら支辨し得なければならぬばかりか、國際的會費を國際的書記局に送致する義務があり、その上なほ重大な場合（例へば印度及び支那）には、國際的救援活動に参加せねばならぬのである。兩組織はその成員大衆の間にこのことを無條件的に徹底しておかねばならぬ。この二つは救援を行ふ組織なのであつて、救援を自分のために期待してゐる如き組織ではないのである。かゝる立場をしつかりと徹底せしめなければ、將來の活動は覺束なくなるであらう。同盟の出版物は國際赤色救援會の植民地に於ける活動を報道し、國際赤色救援會の出版物は「反帝同盟」に關聯する記事にその紙面の一點を充てなければならぬ。二三の國々では機關も亦相互に助け合ふことが出来るであらう。

だが最も重要な點は、「國際赤色救援會」と「反帝同盟」とが植民地の問題に於て政治的に協働することである。充分に準備された集會を年に四度開くことは格別に大きな活動ではないが、この二年の間に「反帝同盟」の若干のヨーロッパ支部はこれらの集會を唯の一度も開かなかつた。一般にその理由は會場を借りる金がないといふのであつた。國際赤色救援會も同様の缺陷をもつてゐる。若しも規則的に、略々一年に四回、從

つて三月に一回、ヨーロッパの主要都市に「反帝同盟」と「國際赤色救援會」共同で充分準備の行きとゞいた大集會を緊急な植民地問題のために開いたなら、この兩組織を一般化し、組織的に強化するのに非常に役立つであらう。その他多くの政治的行事も共同に行ふことが出来る。かゝる協働は一方では助け合ひであると同時に、他方では一定の相互的な統制を意味したであらう。二つの組織にとつて活動は容易となり従つて活動は一層廣汎にそして一層系統的になり得るであらう。

私はかゝる考への二三を前回の國際赤色救援會の國際會議で述べることができた。國際赤色救援會の會員の廣汎なる層の注意をこの點に向けさせることも必要であると私は考へる。

——「モップル」誌、一九〇三年十二月號ヌメラールの論文——

協同組合内に於ける赤色救援會活動

一九一〇年コペンハーゲンに於ける國際社會主義者大會は労働者協同組合を階級闘争の要具として指示した。併し改良主義の指導下にある労働者協同組合は益々この重要な任務から外れて行つてゐる。改良主義的指導者は獨占資本と結び付き、プロレタリアートの革命的闘士に對するブルジョアジーの迫害に協力してゐる。彼等は少くとも資本家と同じ位に自己の使用人や労働者を搾取してゐる。而も口では協同組合で働くことは尊いことだと述べてゐるのだ。反對派的協同組合員は除名され、經濟的により強力な者即ち最大の販賣額をあげ最大の収入のある組合員は大切にされてゐる。

資本主義政府は早くから労働者協同組合を、バリケードの彼方からの闘争要具として利用してゐる。フランス、フィンランド及びチエツコスロヴァキアの動員法は戦時には協同組合を軍事及び配給機構に合併することを規定してゐる。協同組合官僚は「協同組合概観」紙上で眞に改良主義的な「目標」——資本家の勢力をそこから放逐し、それによつてトラスト及びカルテルを手中に收める——を以てトラスト及びカルテルへ参加することを宣傳してゐる。イギリスでは全商業取引の四七%（ドイツでは三%）が協同組合を通じてなされてゐるとしても、それはそれによつて如何なる可能性と經濟的要因とがプロレタリアートの階級闘争から奪はれ、獨占資本とその社會ファシスト的從僕の利用に委ねられたかを示すものである。

國際協同組合聯盟は五千六百萬の組合員を持つてゐる。その中三千萬はサヴェイト協同組合員である。全収入の四〇%はサヴェイト同盟の協同組合から來てゐる。改良主義的協同組合内のプロレタリア組合員の數

は益々減る一方であつて、現在六九・六%である。これはキリスト教的協同組合に於けるそれよりも少い。

改良主義的協同組合の反階級的活動は明白である。即ちストライキの應援や闘争してゐる労働者或は迫害を受けた労働者の救援はこれを拒否し、自己の組合員が困窮に陥つた場合にもそれに信用を與へることを拒んでゐる。協同組合新聞はサヴェイト及び共產主義者に對する狂暴な使喚をやつてゐる。國際協同組合聯盟にあつて過半数を占めるサヴェイトの組合員に重心があるのに國際大會の席上に於けるサヴェイト同盟代表の提議は一蹴された。改良主義的協同組合の指導者——社會民主主義者は、勤勞者に對する關稅租稅及び賃銀政策に關する立法及び行政に参加し、戦争準備の促進者として活動してゐる。フィンランド協同組合聯盟の議長たるタンナーは總理大臣としてファシスト防衛團の閲兵式を行つた。

協同組合は赤色救援會の活動にとつて特に重要である。階級意識ある指導の下にあるならばそれは闘争するプロレタリアートの有力な自給機關となることが出来るし、労働者大衆の連帶を喚起し組織することが出来る。協同組合の幾百萬の組合員、購買者は大部分婦人、青年及び兒童である。しかもこれらの層は我々が獲得し難く啓蒙し難いものである。

國際赤色救援會執行部第二回總會の組織問題に對する決議は、團體加盟をしてゐる組織内での活動に關する二、三の點を含んでゐる。この方針は協同組合内での活動についても同様に大きな重要性を持つてゐる。この方針の要求するところは、赤色救援會委員會、或は赤色救援會代表委員を選挙すること、團體加盟せる協同組合の代表を赤色救援會指導部に送ること、團體加盟の團體内にイニシアティブ・グループを創ることである。併しこれらの點について從來僅かの注意しか拂はれなかつたと云はれねばならぬ。

組合内の赤色救援會活動は極めて微々たるものだ。團體的に加盟せる組合の數は未だ尙比較的僅少であり、

革命的反対派が強力な決定的な影響を持つてゐる協同組合のすべてが未だ尙團體的に赤色救援會に加盟してゐない。キリスト教的協同組合内の赤色救援會活動については全然何事も知られてゐない。

チエツコスロヴァキアの一例は、大衆組織としての協同組合の意義と階級意識ある指導下に立つこの大衆組織の闘争力とが従來如何に僅かしか注意されてゐなかつたかを示してゐる。チエツコスロヴァキアでは數多の革命的協同組合員が告發され逮捕され告訴された。特にドムプロワ炭山地方に於てさうであつた。併し幾十萬のプロレタリア組合員を持つチエツコスロヴァキアの協同組合は、迫害された同志及び役員のために何等の抗議行動も救援行動も組織してゐない。チエツコスロヴァキアの反対派の影響下にある協同組合が何をしたかは未だ知られてゐない。

併し、協同組合内の赤色救援會活動が如何に遂行され得るかを明らかに示す二、三の例がある。吾々のフランスの姉妹組織には團體加盟員として理髮師の生産協同組合があり、それは赤色救援會の凡ゆるカンパニーを共に遂行してゐる。この協同組合の理髮師は監獄へ行き政治犯人の頭髮及び鬚の手入れを引受けてゐる。ニームには「理髮師の赤色救援會グループ」があつて、會員獲得活動の中心たる理髮師サロンを持ち、活潑な赤色救援會活動を展開してゐる。スキスでは飲食屋、靴屋、住宅、及び印刷工協同組合が團體加盟し、すべての赤色救援會活動を援助してゐる。飲食店には赤色救援會の基金箱が置かれ、赤色救援會のポスターが掲げられてゐる、等々、チエツコスロバキアには三百三十の配給町と四萬五千の組合員を持つ協同組合「フツエラ」がある。この組合は、例へばハルス基金のための集金を行ひ、決議を採用することによつて、赤色救援會の任務を共に遂行してゐる。この組織は四千の婦人幹部を持つてゐる。アメリカ合衆國では特にニューヨーク及びボストン地方では協同組合の休養所に於て活潑な赤色救援會活動が展開されてゐる。この休養

所の文化的な催しは常に階級裁判及び白色テロルの犠牲者及び基金募集と結びつけられてゐる。

協同組合内に於ける活動方法は、一般的には、他の大衆組織内のそれと同じである。

また赤色救援會に團體加盟してゐない地區的、地方的及び全國的規模の協同組合は改良主義的指導部の反抗を厭つて組合員の間に於けるすぐれた準備啓蒙活動を通じて、團體會員として獲得されねばならぬ。他方赤色救援會諸組織は協同組合組織の團體會員でなければならぬ。またさうでないならば即刻にさうせねばならぬ。改良主義的官僚が加盟提議を拒絶するならば、この事を成員間のカンパニーのために利用しなければならぬ。協同組合内に組織された赤色救援會員及び同情者は、勿論隨時に赤色救援會の團體加盟員となれといふ提議をその協同組合内で説明して組合員及び役員會に於て讀上げ、その採用を要求せねばならない。赤色救援會諸組織内では、協同組合加盟、革命的反対派への加盟の爲めの執拗な成員獲得活動が行はれねばならない。かくして同時に協同組合内に我々の赤色救援會活動のための新たな信頼し得る支持點が創られるであらう。

特に協同組合に於てなされねばならないのは保護者活動である。協同組合の組合員集會に於て、赤色救援會員及び赤色救援會に同情せる協同組合員は赤色救援會の任務に基く決議や提議を提起し、大衆を救援行動に動員せねばならぬ。基金募集及び會員獲得活動だけでは不充分である、それらは廣汎な政治的啓蒙、報道活動に基いてなされ、擴大され、抗議行動によつて活潑にされ元氣づけられなければならない。又赤色救援會サークル、講習會及び討論の夕が組織され、大衆を赤色救援會の示威行動やデモに引き入れねばならない。赤色救援會員及び同情者の協同組合員は革命的反対派撃退のための反階級的特別規約に對し極めて鋭く闘争しブルジョアジーのサヴェート使職と戦争政策とに對して斷乎たる態度をとらねばならぬ。

協同組合の販賣所は、會員獲得のための絶好の可能性を示してゐる。主要販賣時間中に、會員獲得の資料や勸誘状を配布し、基金募集名簿やスタンプを店に出し、又男女の購買者に平易な啓蒙的な言葉をかけることができる。協同組合販賣所の中や前で移動集會を開くことも出来るし、又特別な場合には、婦人購買者を店から直接短時間のデモに引き入れることもできる。協同組合員を支持者及び會員に獲得することは極めて重要なことである。組合員が我々の行動を通じてすでに赤色救援會の意義と必要を確信したところでは婦人購買者、支店員、運搬人等は自ら會員獲得者及び赤色救援會員となる。彼等は、各家庭への商品配達の場合に赤色救援會の資料と一緒に配布し、赤色救援會のピラをはること等ができる。協同組合の婦人の間に於ける活動は、イギリスの救援會にとつて特に重要且つ必要である。

協同組合がその組合員の結集及び改良主義的感染のために贈物をなすといふ方法を用ひてゐるところでは我々はそれに用ひられる協同組合の全文は贈物そのものが、政治犯、赤色救援會兒童ホーム、政治的移民等々のために用ひられることを要求せねばならぬ。このことによつて、我々は同時に協同組合員をプロレタリア的責任、救援準備に、國際的連帶性に教育せねばならぬ。

これまで一般的に、連帶性に對する協同組合員相互の義務が考慮されなかつた。逮捕され、拷問され、處刑された労働者の多くは協同組合員である。この點に鑑みて、逮捕反對の方策は直接協同組合の闘争とならねばならぬ。改良主義的及び反對派の協同組合機關誌は、赤色救援カンパのための欄を作らねばならぬ。

特に協同組合は、その傳統的な義務を想起して、その管理及び配給の範圍内での政治的追求者及び逃亡者保釋中の政治犯に活動の便宜を計り生活を援助せねばならぬ。

あらゆる資本主義諸國に於ける政治的、經濟的情勢の激化に鑑みて、協同組合内の赤色救援會運動は注意

を拂はずに打ちすてられておいてはならない。この活動は、赤色救援會組織を大衆の基礎の上に準備するた
めの大衆組織内に於ける吾々の全活動の重要な環である。この活動は同様に、國際的教育のために廣大な
可能性を示してゐる。それ故にこの活動は、直ちに、そして系統的に到る處に着手されねばならぬ。

——「モップル」誌、一九三一年五月號バーメルクの論文——

※ こゝに挙げられてゐる組合員数はヤ、古い統計に據るもので現在は更に増加して居ると見なければならぬ。

〔譯者註〕

赤色スポーツと赤色救援會

六〇

スポーツ運動を組織し、又一般的にブルジョア・スポーツを奨励することが青年労働者の關心を政治から引離し、來るべき戦争に備へるためにブルジョアジーが利用する一つの方法であることは今や周知知られてゐる。社會民主主義的指導者や改良主義的労働組合も同様にブルジョアジーに追隨し、青年労働者を革命的階級闘争から引離すために労働者スポーツ運動を悪用してゐる。

若しも革命的青年がプロレタリアートの利益のために、又ブルジョアジーの戦争準備に抗して労働者階級の政治問題及び生活問題をスポーツ運動へ持ち込もうとするや否や、ブルジョアジーやその手先社會ファシストの好意的態度はたちどころに一變する。フランスで僅かばかりの政治的性質を帯びたと云ふ理由で屢々スポーツの催しが禁止されたことを想起すれば充分である。即ちその催しが革命的スポーツ同盟により組織されたと云ふだけで禁止を食つたのである。ベルリンにては、示威運動禁止令が通過した當時、社會民主黨出身の警視總監ツエルギーベルは、シュプレー川で「禁止されたる示威運動」を行つたと云ふ理由で八十人を檢束し、そのポートを差押へさせたことがある、しかもその時同時にブルジョア・スポーツ協會や社會民主主義的スポーツ聯盟は何等の妨げもなく彼等の催しを舉行し得たのである。

どこの國でもプロレタリア・スポーツ組織は、至るところ迫害せられ、禁止せられてゐる。その催しは絶えず陰險なる警察當局によつて侵害せられ、その上屢々解散を命ぜられることさへあるのである。(例へばギリシヤ、ハンガリー、アルゼンチン、キューバ、ウルガイ等々)

労働者階級のスポーツ組織は又、反動政策とも闘はねばならない。例へばプロシヤの社會民主主義的内相ヴェーレンティツヒの勸告によつて、反對派のスポーツ組織が政府の青年訓練所から除外せられた如きはその一例であり、又現に反對派スポーツ組織は通行許可が剝奪され、或はプロレタリアスポーツ組織には屋外屋内の競技場を使用させてはならないといふ指令が地方廳に發せられてゐる。

これらの事實は何を物語るものであるか？

第一にそれは労働者スポーツ組織が他のすべてのプロレタリア組織と同様に、ブルジョアの及び社會民主主義的テロル政治の下に、又その階級裁判の下にあるといふことである。ブルジョアジーはたゞ一般的にスポーツ運動を奨励してゐるのではない。一定の階級的内容をもつたスポーツ運動を奨励してゐるに過ぎないのだ。又一方社會ファシスト的指導者はプロレタリア・スポーツ組織によつて階級闘争を眠り込まさうとあらゆる手段を盡してゐるのである。

第二にそれは又、労働者スポーツ組織が屋外屋内競技場使用權獲得、通行自由獲得、及び一般にその存在權獲得の爲めに並びに、その催し禁止反對のために戦ひ、且つ白色テロル、階級裁判、社會ファシズムに對する國際赤色救援會の闘争と結び付かねばならないことを意味する、アルゼンチン、ウルガイ、キューバの赤色スポーツ組織は殊にこのことをよく理解してゐる。といふわけは、これからの國々に於いてこそプロレタリア・スポーツ組織の迫害が、殊に顯著だからである。彼等は國際赤色救援會に團體加盟し、且つ積極的にそれに参加してゐる、同様にフランス、ギリシヤ、ハンガリーに於ても、赤色救援會と労働者スポーツ組織との共同闘争が存在してゐる。しかし遺憾なことには多くの國に於いてこの協力が不充分でありスポーツ組織が赤色救援會の會員となつてゐることは比較的僅少であることが認められる。

他方に於て又赤色救援會組織がプロレタリア・スポーツ組織に對して餘りに注意を拂つてゐないといふことを認めなければならぬ。ブルジョアジーが、スポーツ組織を來る可き戰爭準備のために利用しつつあることは最初に述べた。資本主義諸國に於ける帝國主義戰爭準備に抗し、又サヴェート同盟擁護のために戦つてゐる國際赤色救援會は、かくしてスポーツ組織内に於けるブルジョアの、社會ファシスト的影響と闘ふために全力を盡さねばならぬ、そしてスポーツ組織の内部に於いて強力な國際教育活動をなし、且國際赤色救援會の國際連帯性を擴めねばならぬ。國際赤色救援會は、至る處で迫害の下にあるプロレタリア・スポーツ組織を支持しなければならぬ。アルゼンチン、ウルガイ、キューバに於て赤色救援會とスポーツ諸組織とが好い關係にあるのは、これらの國では赤色救援會組織がスポーツ組織と常に協働し、共に白色テロルに抗して闘争して來たからであるといふことに想到しなければならぬ。かくてスポーツ組織の中に赤色救援會のイニシアチーブ・グループが創られ、政治的活動が爲され、そしてスポーツ組織が又支持されたのである。

國際赤色救援會のすべての支部及び姉妹組織はこの例に倣はねばならぬ。そうすればすべてのプロレタリア・スポーツ組織の中に赤色救援會のイニシアチーブ・グループが創られるのであらう。このグループは個人會員、又は團體會員を募集するかたわら、國際赤色救援會のカムパニーナ・プロレタリア・スポーツ諸組織を積極的に参加させ、又ファシズム、白色テロル、社會ファシズム、階級裁判に對する國際的闘争へ労働者スポーツマンを引き寄せねばならぬ。又犠牲者やその家族達のために一般的な催しや、又は個々のスポーツの催しをやつて、赤色救援會の實際的な活動にスポーツ諸團體を引き寄せることが出来る。労働者スポーツの各種の催しには、通常大衆的な觀覧者があるものであるが、それはイニシアチーブ・グループにとつてはよき偏動と赤色救援會の會員基金募集活動を行ふ絶好の機會を與へるものである。そしてそれはその日の花形、即

ち夫々の競技の勝利者を積極的にこの活動に協同させることができれば、一層効果が大きいであらう。

以上の述べたことを、吾々は次のやうに概括することが出来るであらう。ブルジョアジーや社會ファシスト達のスポーツの悪用に抗し、帝國主義的戰爭準備に抗し、サヴェート同盟擁護のために、労働者スポーツ組織を重壓する迫害、禁止、侵害に抗し、ファシズム、白色テロル、社會ファシズム、階級裁判に抗し、政治犯人の釋放のために、彼等の家族の支持のために、赤色救援會と労働者スポーツ國とは常にそして至る處で協同して活動し、闘争しなければならぬ。

赤色スポーツマン諸君！ 赤色救援會に入れ！

——「モップル」誌、一九三〇年十一月號——

一九三一年八月三十日 印刷
一九三一年九月十日 發行

〔定價十五錢〕

發行人 玉井 數馬

東京市牛込區市ヶ谷宮久町一三八

發行所 日本赤色救援會

振替東京六四四一二番

東京市神田區三崎町三

印刷所 日本印刷株式會社

30
G-107
I

Book 2 A
Ltr 1/8
SA 15055

